（公財）ＰＭＦ組織委員会　殿

第 25 回パシフィック・ミュージック・フェスティバル 2014

来場者調査　報告書

（2014 年 11 月版）

2014 年 11 月 10 日

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院
ＰＭＦ調査プロジェクトチーム
黄健霞、周雪欣、ホアン　ナム　フォン、
メンゼン リーズ、李一程
（指導教員　宮部潤一郎）

1. 調査実施および回収状況

- 調査実施コンサート

  当初、以下の 9 コンサートで実施を計画したが、組織委員会と協議の上、回収状況を勘案して 8 月 2 日のガラコンサートでは調査実施を見合わせた。したがって、調査は計 8 回である。

1	7 月 9 日	水	大通公園コンサート
2	7 月 12 日	土	芸術の森：オープニングコンサート
3	7 月 13 日	日	Kitara 大ホール　プログラムＳ
4	7 月 16 日	水	Kitara 小ホール　ＰＭＦウィーン弦楽四重奏演奏会
5	7 月 18 日	金	市民ロビーコンサート　市役所ロビー
6	7 月 21 日	月・祝	Kitara 大ホール　特別コンサートⅠ
7	7 月 26 日	土	地域ふれあいコンサート：東苗穂小
8	8 月 2 日	土	Kitara 大ホール　ガラコンサート
9	8 月 3 日	日	芸術の森：ピクニックコンサート

- 回収状況

  回収結果は以下の通りである。本報告書の集計分析は、無効回答の 57 件を除き、3,834 件を対象とした。

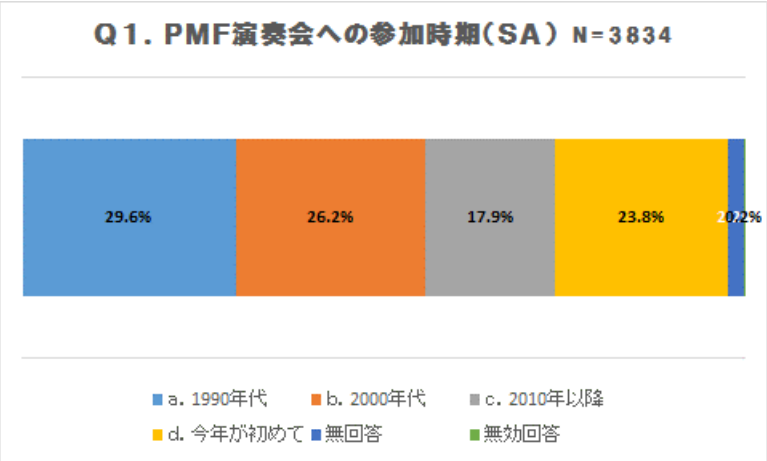
表1　2014PMF調査　配布･回収状況

			持込枚数	未配布数	実配布数	回収数	回収率	無効回答
1	7月9日 水	大通公園コンサート	1,200	400	800	446	55.8%	3
2	7月12日 土	芸術の森:オープニングコンサート	3,000	1,088	1,912	711	37.2%	8
3	7月13日 日	Kitara大ホール　プログラムS	1,700	453	1,247	577	46.3%	9
4	7月16日 水	Kitara小ホール　PMFウィーン弦楽四重奏演奏会	450	66	384	220	57.3%	11
5	7月18日 金	市民ロビーコンサート 市役所ロビー	160	15	145	120	82.8%	1
6	7月21日 月･祝	Kitara大ホール　特別コンサートⅠ	1,600	563	1,037	529	51.0%	8
7	7月26日 土	地域ふれあいコンサート:東苗穂小	400	162	238	171	71.8%	0
8	8月3日 日	芸術の森:ピクニックコンサート	4,000	1,012	2,988	1,116	37.3%	17
		回収場所不明				1		
			12,510	3,759	8,751	3,891	44.5%	57

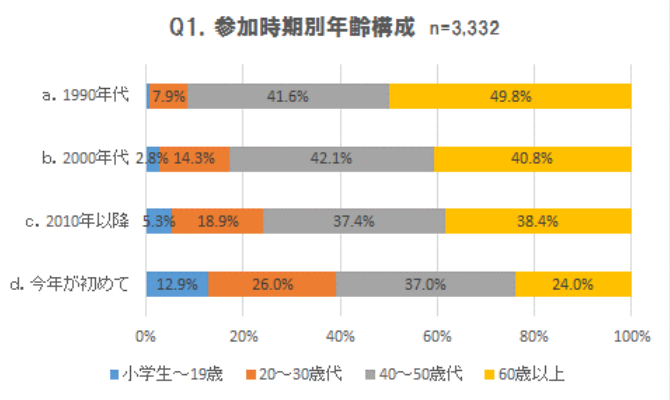
*7月9日の配布数は推計。回収した鉛筆数が700本、回答者のうち300人が鉛筆を返却したと想定。
*無効回答:記入がまったく無い回答票

2.　集計結果分析

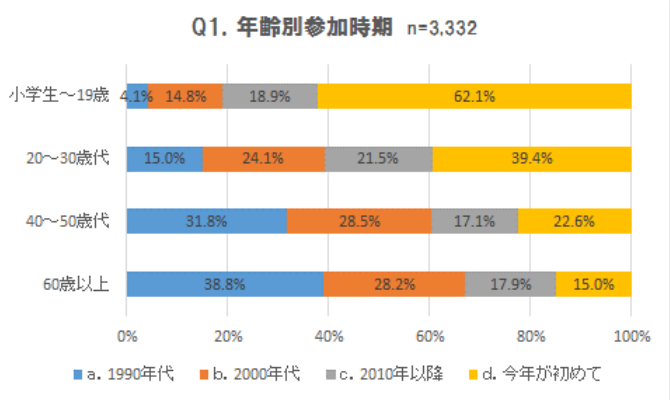
1）Q1 PMF 演奏会への参加時期



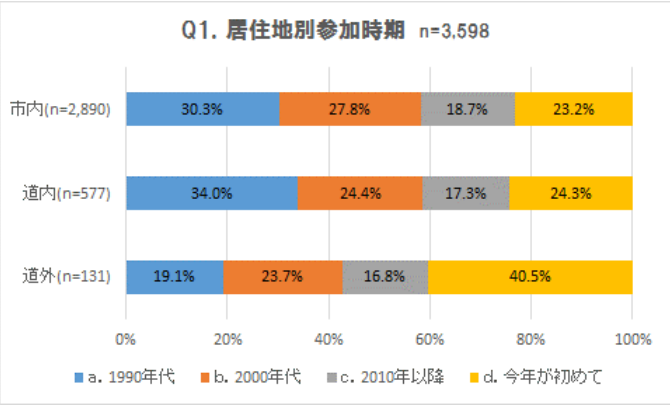
今年初めて参加が 24%、来場者の約 1／4 を占めていた。毎年この様な状況であるとすると、毎年新たな聴衆を獲得していることになる。この人達に次年度以降も参加してもらう、リピーターになってもらうことが支持基盤の拡充にきわめて重要である。



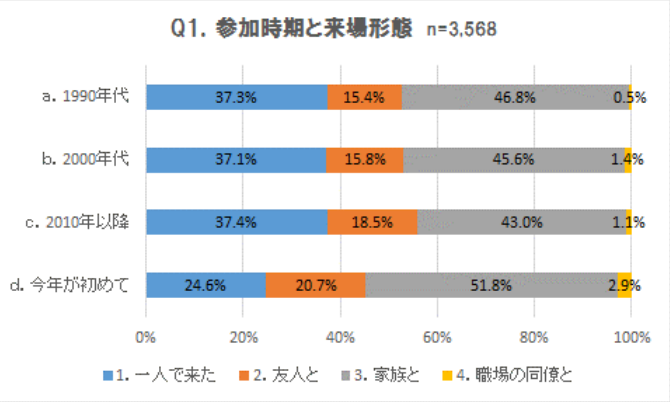
“今年初めて参加”のうち 30 歳代までの若年層が 39%を占めている。若い聴衆を獲得できていることを示しているが、“2010 年以降”では 30 歳代以下が 24%に低下し、継続的な参加に必ずしもなっていないことが示唆される。



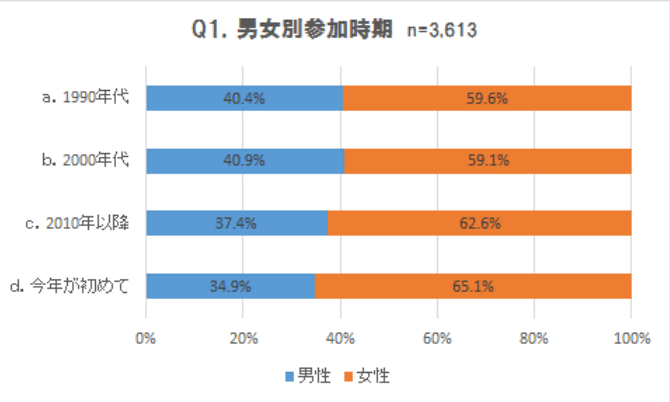
上記の点は年齢別に参加時期を見ることでも確認できる。19 歳までの 62%が“初めて参加”であるが、20～30 歳代の“2010 年以降”が 22%となっている。毎年同様の傾向であるとすると、相当数が 1 回のみの参加になっていると考えられる。



道外からの参加者の 40%が“今年初めての参加”であった。

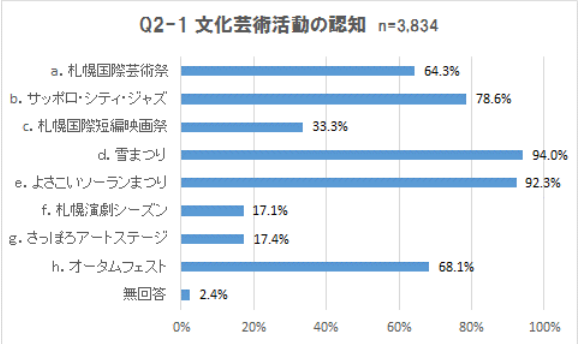


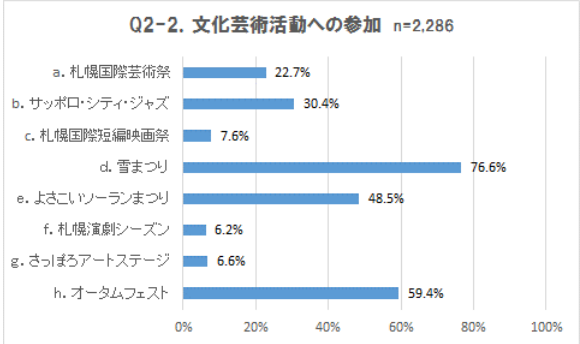
“初めて参加”の 52%は家族と共に来場。家族、友人に連れられての来場で初めて PMF に接する機会を持つ。一方で、25%は 1 人で来場している点にも注目しておきたい。



男女別では大きな差はないが、“今年初めて参加”で女性比率が若干上がっている。

2）Q2 文化芸術活動の認知度と参加



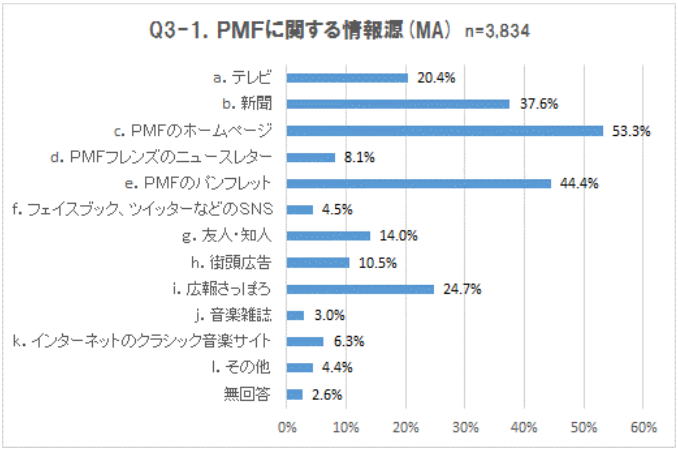


札幌市で開催されている文化芸術活動を幅広に列挙し、認知度と参加度を尋ねた。雪まつり、よさこいソーランまつり、オータムフェストは PMF と同列の芸術活動とは言えないが、広い意味での文化芸術活動として設問に含めた。これらは認知度、参加度ともに高く、広く市民に親しまれていることが示唆される。

この設問の中で音楽芸術に関するものはサッポロ・シティ・ジャズのみであるが、やはり認知度は高く、かつ PMF 参加者の 30%は同時期開催のシティ・ジャズにも参加（設問では鑑賞、見学ボランティア活動など）していた[1]。開催目的・趣旨や実施形態が異なるので軽々に「連携」は言えないが、一般聴衆の目から見て連携、コラボレーションの可能性を考えることは理解でき、またそのような声が上がることも予想できる。

3）Q3 PMF に関する情報の受発信

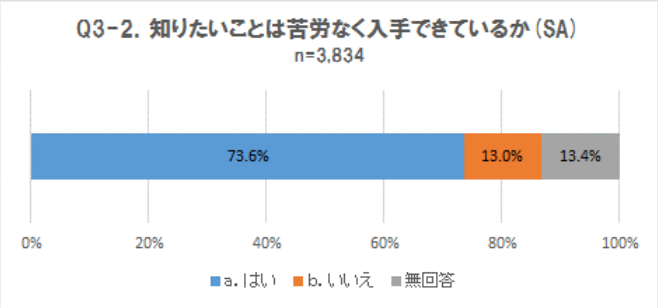
(1) 情報入手の状況



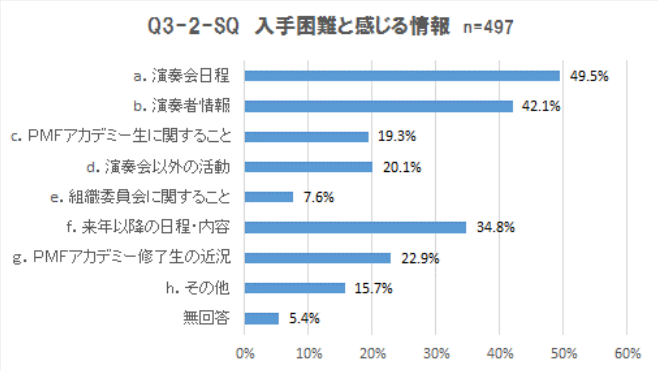
PMF に関する情報をどのように入手しているのかを尋ねた設問である。回答者の概ね 25%以上が依存する情報源は、PMF のホームページ、PMF のパンフレット、新聞、札幌市の広報さっぽろである。

インターネット・サイトを充実することは重要であるが、一方で紙媒体への依存も依然として高い点に留意する必要がある。

[1] ここでは Q2-1 と Q2-2 の両設問に回答したサンプルのみを対象としている。

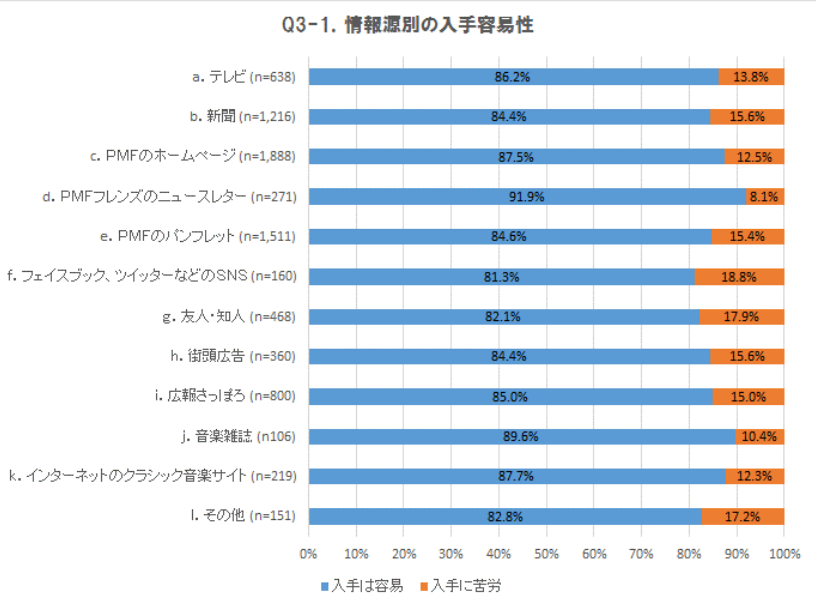


多様な情報源からPMFに関する情報が提供されているが、回答者の13%が情報入手に苦労していると回答している。

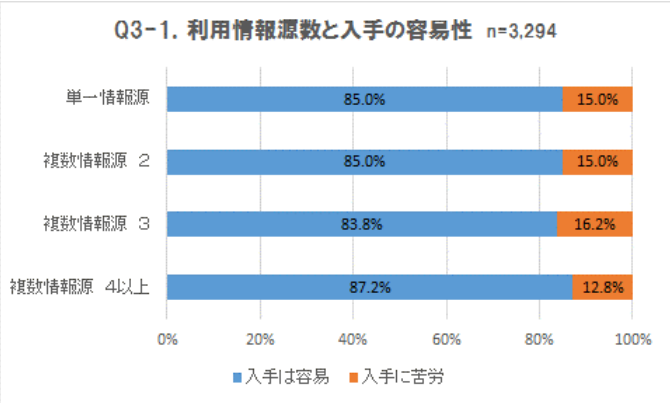


情報入手に苦労している回答者が感じている入手困難情報は、演奏会日程、演奏者情報、来年以降の日程の3点に集中している。また、アカデミー修了生の近況にも関心があることが示唆されている。

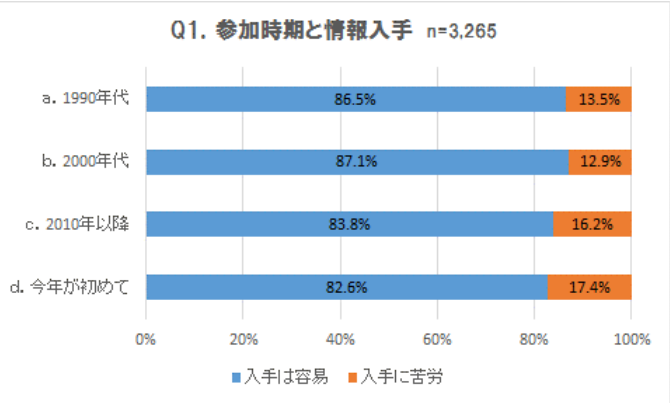
この結果は本年の特殊事情が影響している可能性があると考えられる。ロリン・マゼール氏の死去に伴う変更や、大通公園コンサートの日程変更などが十分な時間的余裕を持って周知されなかったことが影響していると考えられる。この点を勘案すると、来年以降の日程や内容を可能な限り早めに、かつ、計画の進捗に合わせて頻繁に情報発信することで満足度を上げることができる。また、アカデミー修了生の近況のニュースも随時発信することができれば、PMFに関する新しい情報が常に流れている状況をつくることができる。



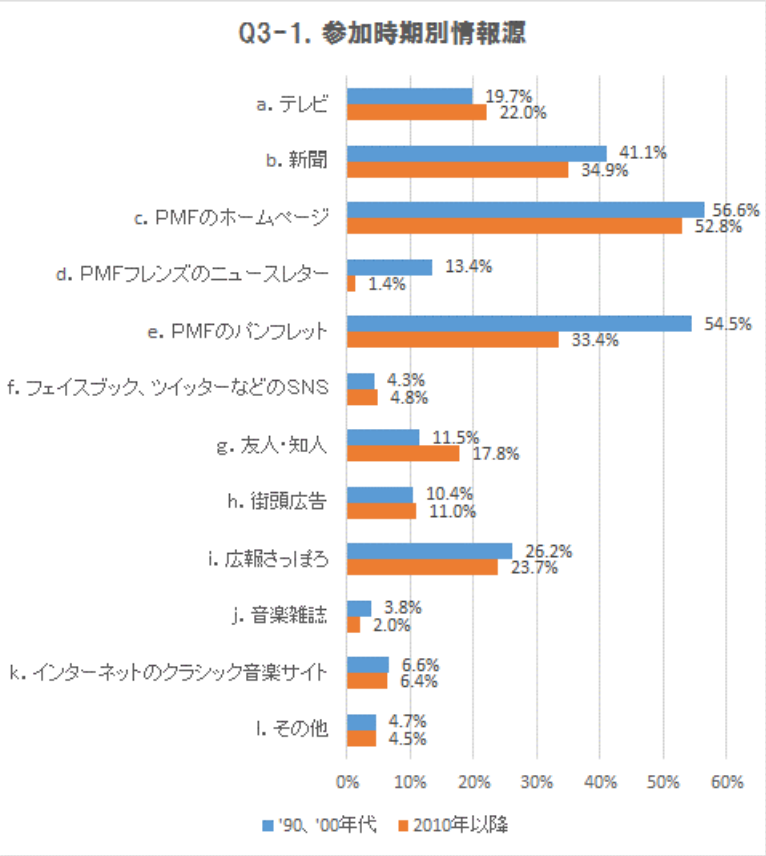
情報入手に苦労があったかどうかを入手容易性として、情報源別にその状況を見ると、SNSと友人・知人からがやや入手に苦労した人が多い結果だが、特に情報源によって偏りがあるわけではない。



様々な情報源を利用することで情報入手の容易性が向上するのではないかと想定されるが、集計結果を見る限り必ずしもそうではない。



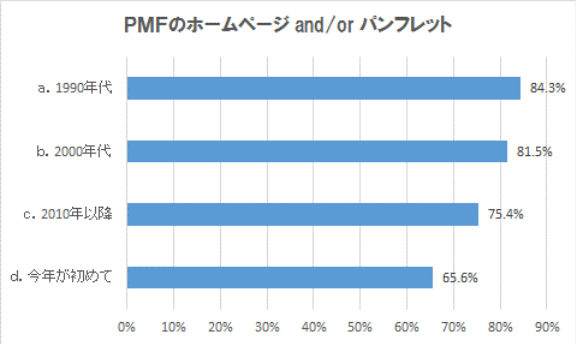
また、参加時期と情報入手の関係を見ると、比較的参加経験の長い人に比較して最近参加した人の方が情報入手に苦労している割合が大きくなっている。過去に PMF と接触があったことが情報入手の経験につながっている。



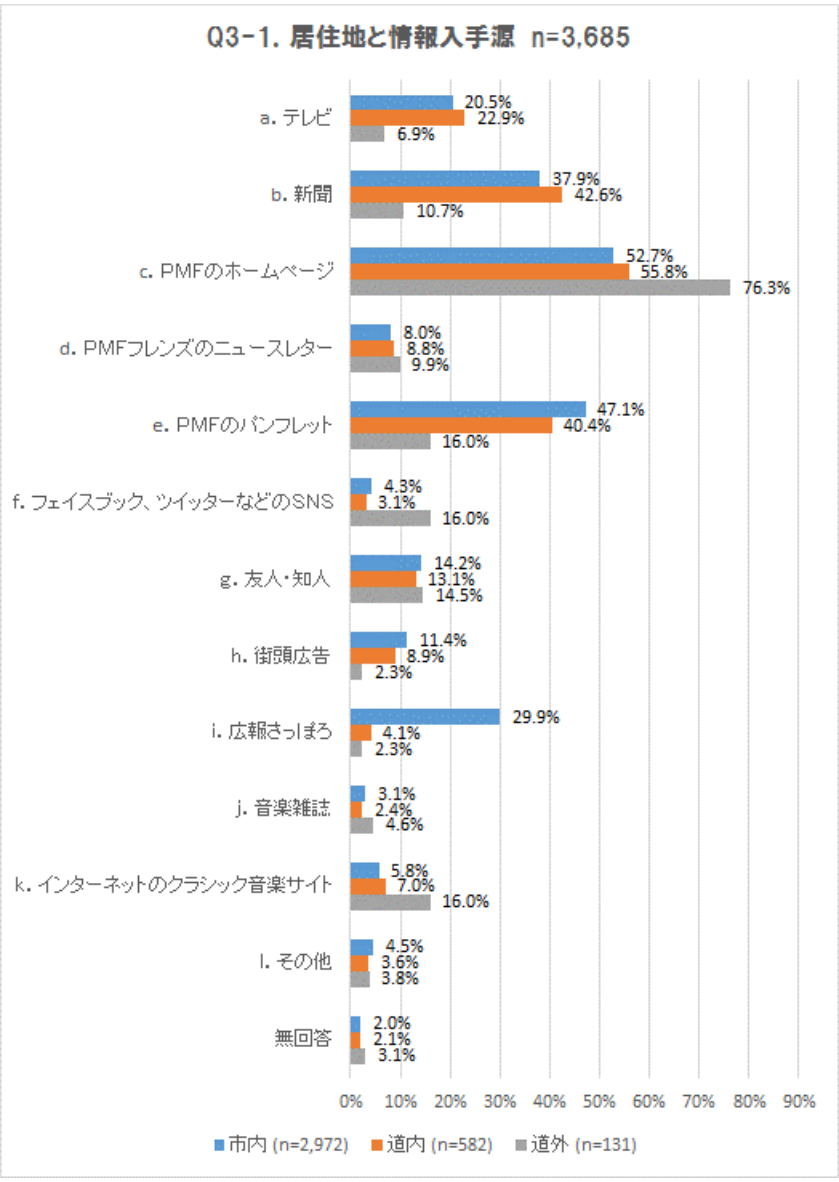
PMF への参加時期別に情報源を見ると、顕著な差が見られるのは PMF のパンフレットである。パンフレットが PMF を良く知る、接触度の高い人向けの情報源になっていて、接触度の低い、ないしはこれまで参加したことのない人には十分に届いていないことが示唆される。

さらに、接触度の低い人達の情報源は拡散しており、様々な情報源を組み合わせて情報提供をしなければなら

ないことを示唆している。

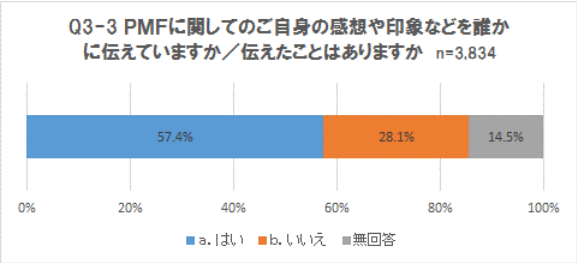


以上の点を参加時期別に PMF のサイトとパンフレットのいずれかへの依存度からも確認できる。インターネット・サイトとパンフレットのいずれかで情報収集した人の割合は今年初めて参加の人で格段に低くなっている。

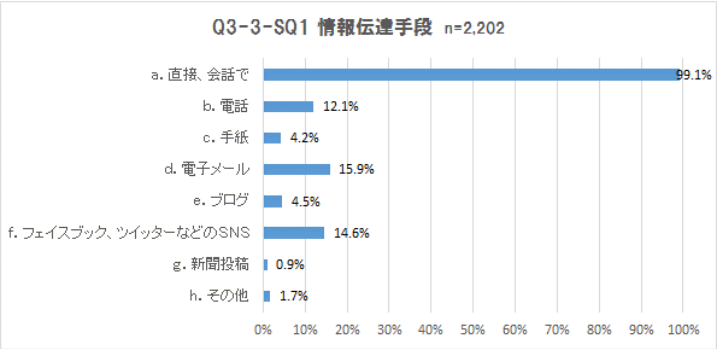


居住地別の情報源を確認しておく。当然ながら札幌市内限定の情報源は市外及び道内居住者の利用はほとんど無い。道外からの参加者はインターネット媒体に依存することになる。

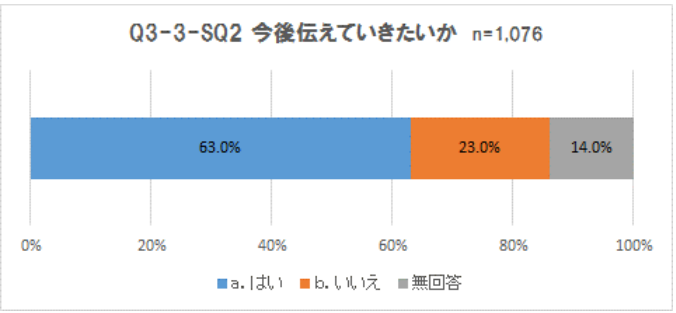
(2) PMF に関する情報発信の状況



情報発信の状況、いわゆる口コミの状況を確認した。回答者のうち、58%は周囲に伝えていると回答している。



ほぼ全ての回答者は、まずは直接の会話で PMF を話題にとり上げている。その上で、電子メールや SNS といった伝達手段を使っての情報発信を行っている。



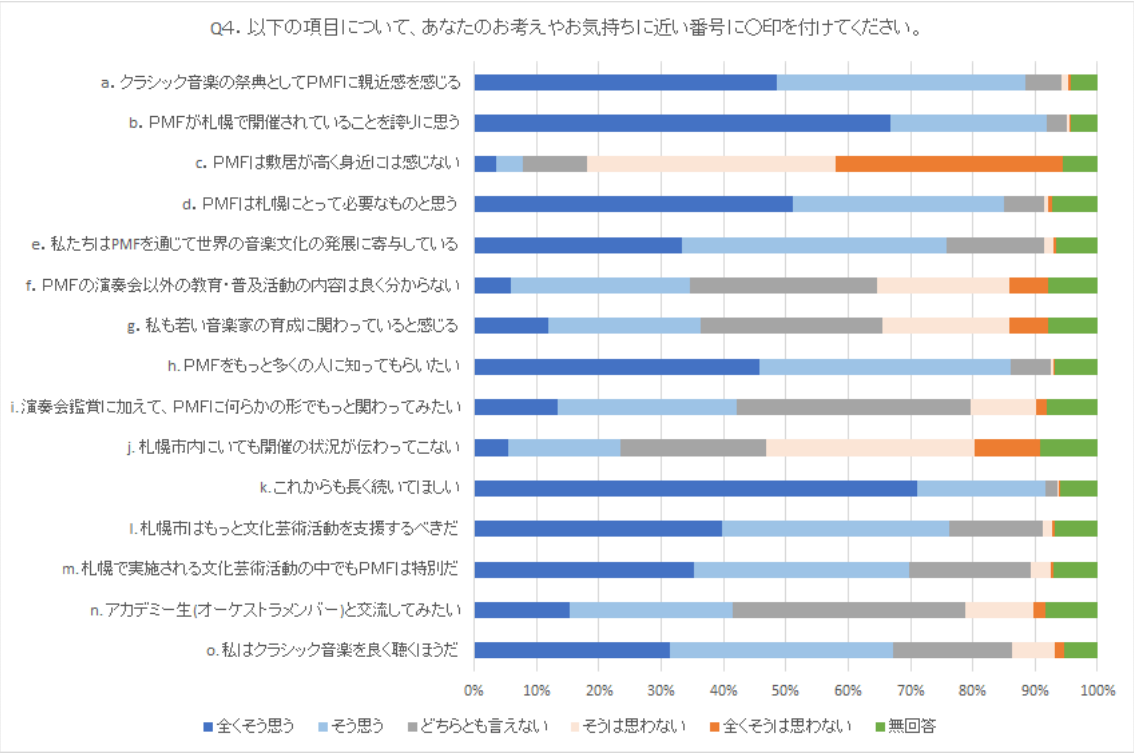
情報発信の経験を持たないとした回答者のうち、63%は今後発信をしたいとしている。

PMF の継続と発展の基盤の一つとして開催都市を挙げての支持があろう。その姿を目に見える形にしていく一つの方策が、市民による活発な情報発信であろう。“口コミ”の活性化のためにどのような話題提供ができるか、という観点から情報提供を検討することも意味あることである。

4) PMF に関する意見・意識

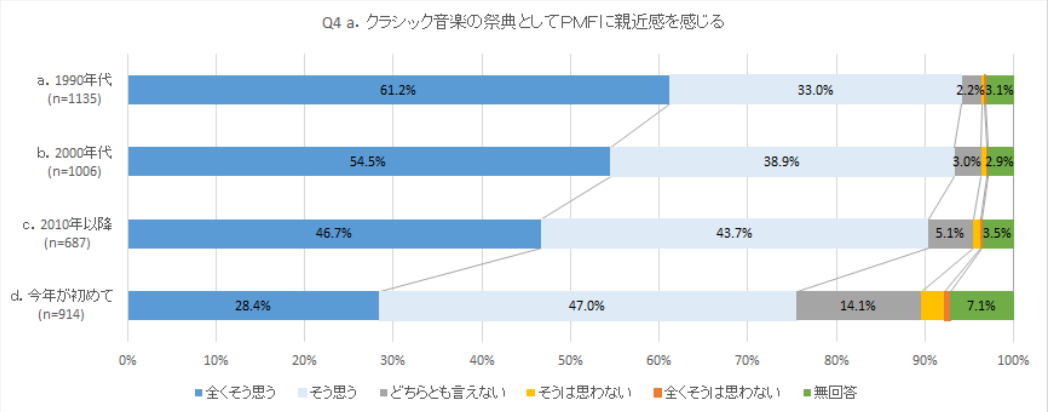
本調査では PMF に関する意見や意識に関して、15 項目の設問で尋ねている。回答者は全員、今年度の PMF 演奏会に参加している人たちであるので、この結果をそのまま札幌市民や北海道民、ひいては一般の意見、意識と見ることは出来ない。しかし、この結果から聴衆として PMF に参加している人々の意見、意識は確認でき、それは大変強く PMF を支持するものである。

「PMF に親近感を感じる」、「札幌開催を誇りに思う」、「これからも長く続いてほしい」

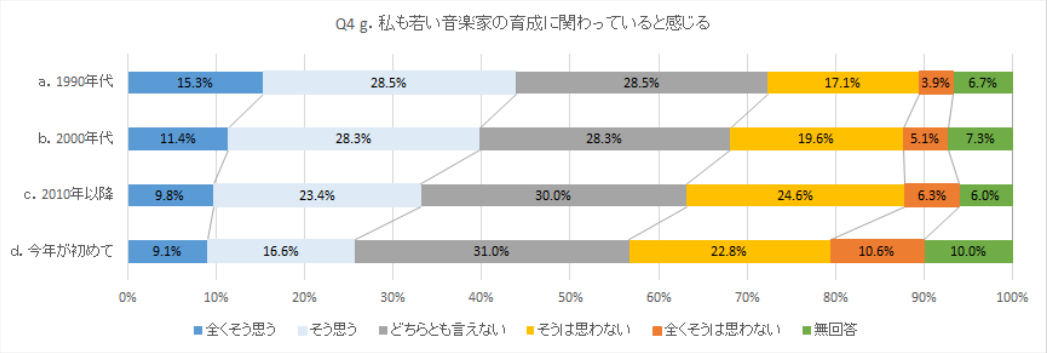


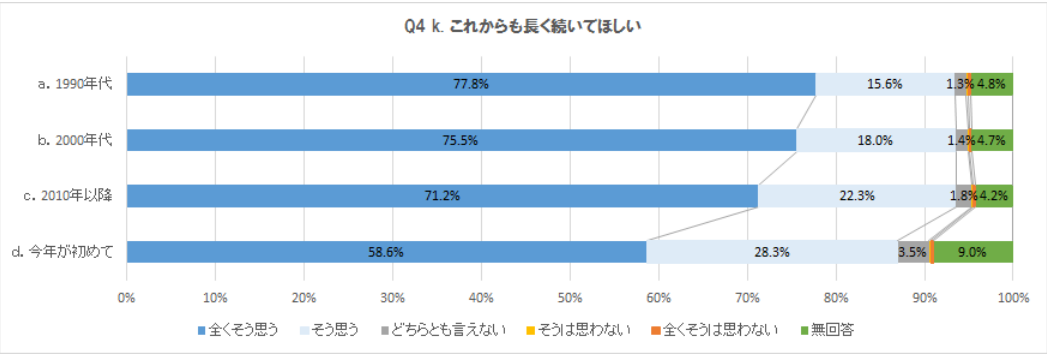
といった意見に対する賛同は大変高く、90%前後の回答者が肯定的な意見を表明している。ついで、「札幌に必要なもの」、「もっと多くの人に知ってもらいたい」に対しては 85%程度が同意している。

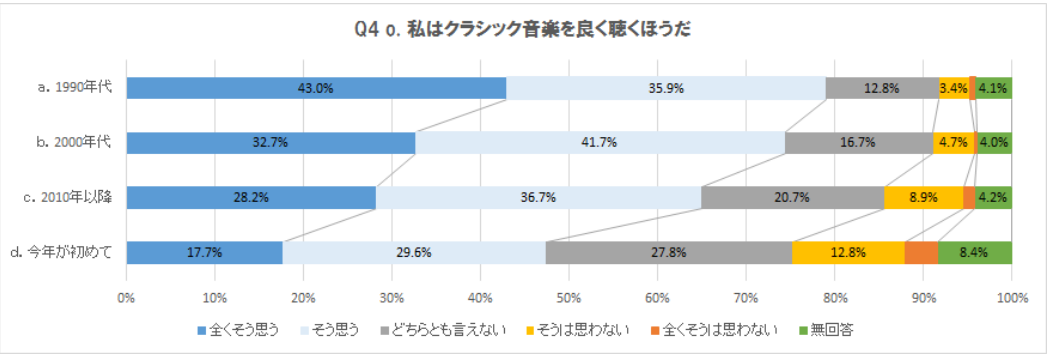
「私たちは世界の音楽文化の発展に寄与している」と考える回答者は 75%に達するものの、「私も若い音楽家の育成に関わっている」、「何らかの形でもっと関わりたい」、「アカデミー生と交流してみたい」に関しては 40%前後の同意にとどまっている。このことから、多くの参加者にとっては PMF がクラシック音楽の演奏会というレベルで理解されていることを示唆していると考えられる。教育音楽祭としての意義を自らに引き寄せて自分のこととして意識する人は 40%程度と見られる。



参加時期別に PMF に関する意見、意識を見ると、15 項目の全てにおいて顕著な傾向を確認することができる。すなわち、PMF への参加時期の早い人ほど、つまり PMF への参加が長い人ほど、より強く肯定的な意見、意識を持っていることが示されている。ここでは、「親近感を感じる」、「音楽家の育成」、「長く続いてほしい」、「クラシック音楽を良く聴く」の 4 項目を示しているが[2]、いずれも顕著な傾向を示している。



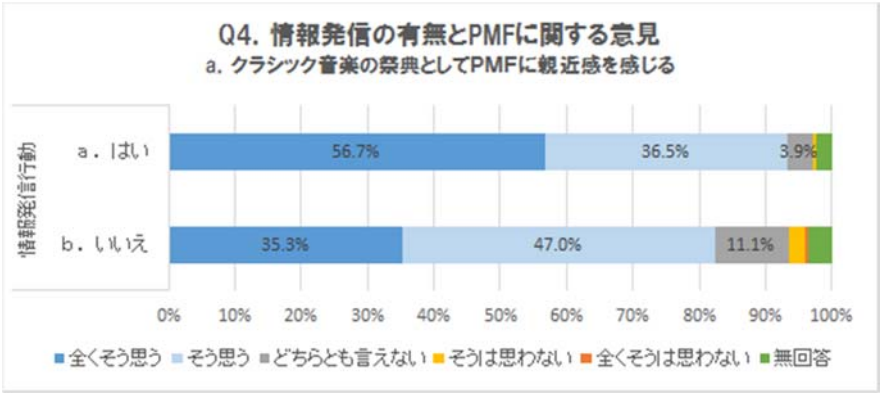


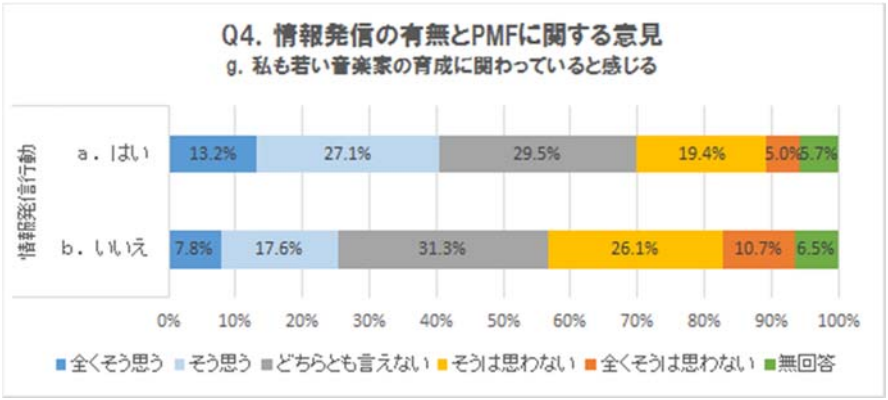


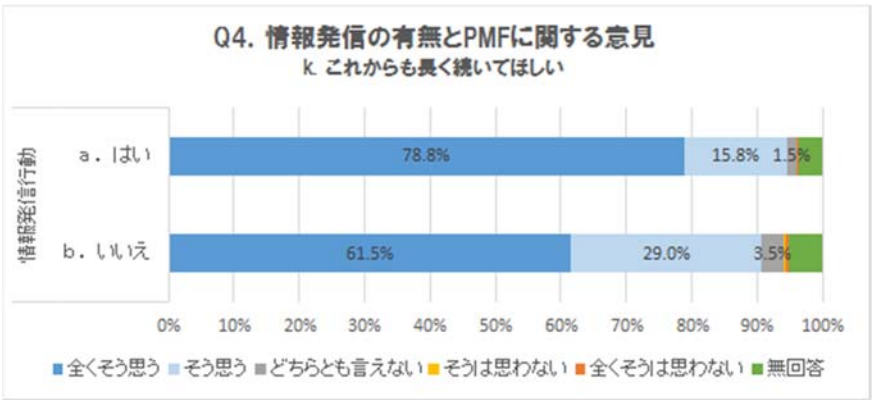
今回の調査結果から PMF との接触経験と意識変化の間の直接的な因果関係を断定することは出来ないが、PMF への接触経験が増加することで理解が進み、支持の度合いが進んでいくことが示唆されている[3]。

[2] 付属資料４に全項目の結果を示す。
[3] もちろん、クラシック音楽をことさらに愛好していない人や PMF の目的、意義に賛同

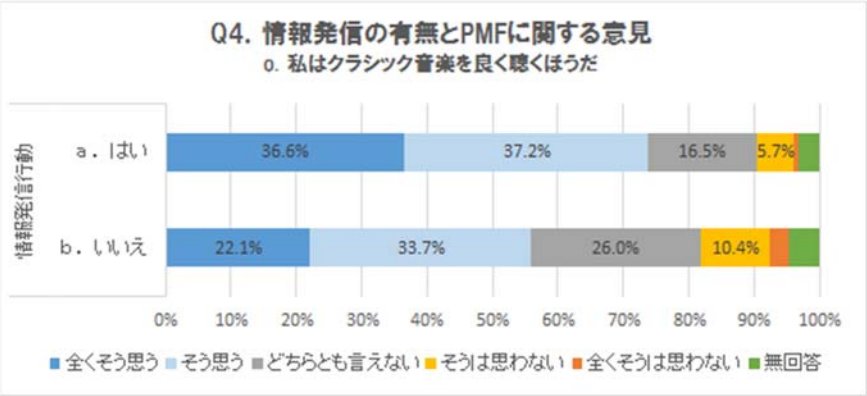
同様の傾向は、情報発信と PMF 評価のクロス集計結果にも見ることができる。PMF に関して何らかの情報発信をしている／したことがある人は情報発信をしていない人に比較して、より強く PMF を支持し、その目的、意義に共感している。







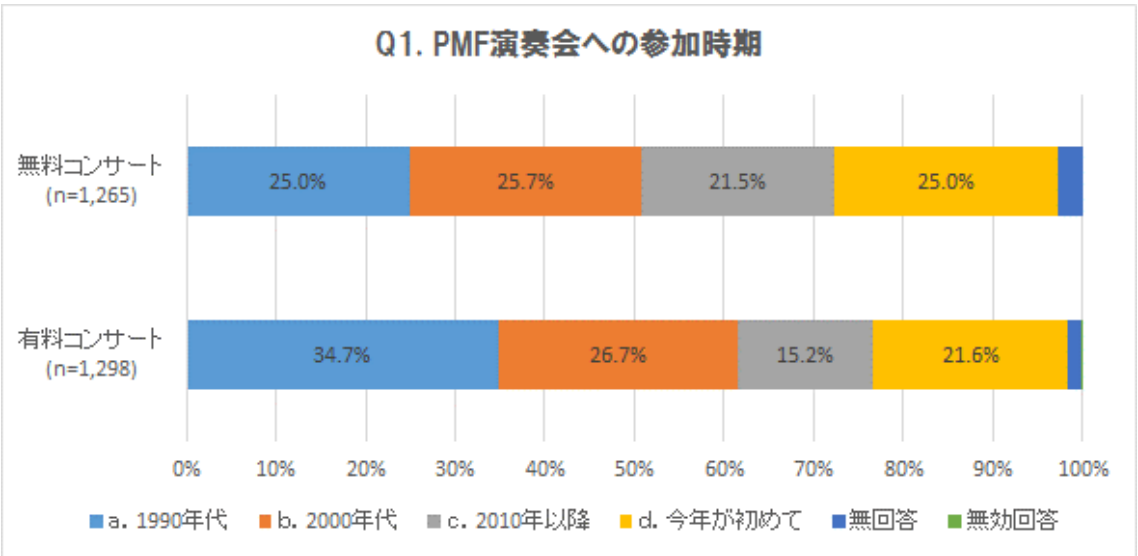
しない人は参加しなくなる傾向を示していると解釈することも可能である。



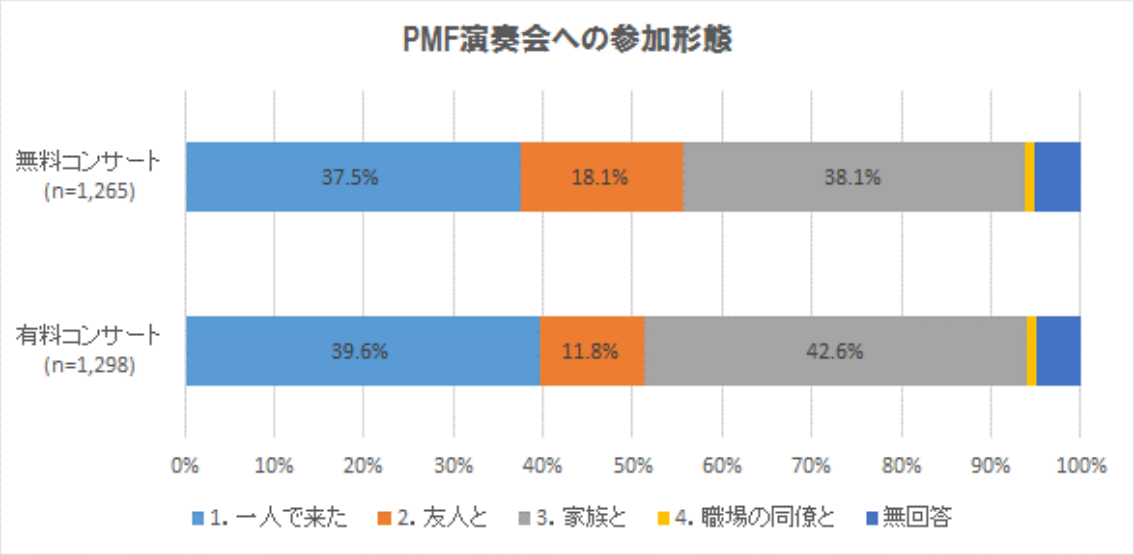
ここでも、相関を見ることは出来るが、因果関係を断定することは出来ない。しかし、より肯定的に PMF を捕らえている人たちが“口コミ”を通じて PMF に関する情報を拡散している様子を見て取ることは出来るだろう。PMF の支持基盤を拡大し、より強固なものにしていくための一つのパスとしてこの点に留意しておくことが重要であろう。

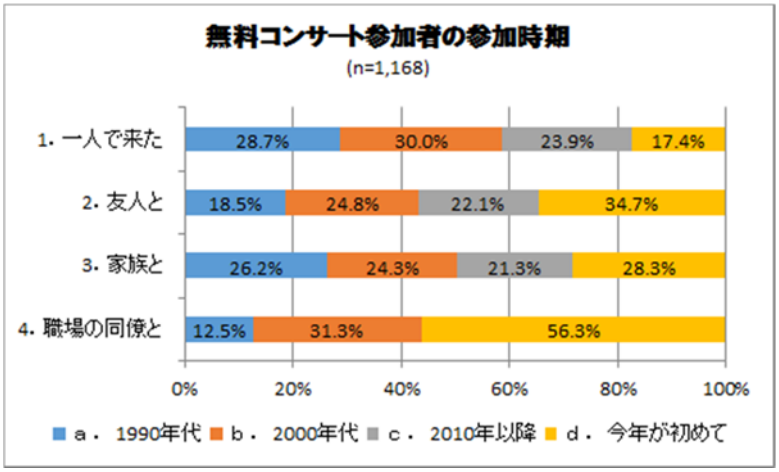
6）コンサート種別

調査対象としたコンサートには、入場料を徴収するコンサートと徴収しないコンサートの両方が含まれていた。ここでは、無料コンサートとして大通公園コンサート、オープニングコンサート（芸術の森）、市民ロビーコンサートを取り上げ、一方有料コンサートとして、7 月 13 日 Kitara 大ホールプログラムＳ、7 月 16 日 Kitara 小ホールＰＭＦウィーン弦楽四重奏演奏会、7 月 21 日 Kitara 大ホール特別コンサートⅠを取り上げ、コンサート種別の差異を見ていく。



ＰＭＦへの参加時期は、無料コンサートが参加履歴の短い人を相対的に多く引き付けている。無料コンサートからＰＭＦへの接触、参加が始まり、有料コンサートへの参加につながっていく状況が示唆される。



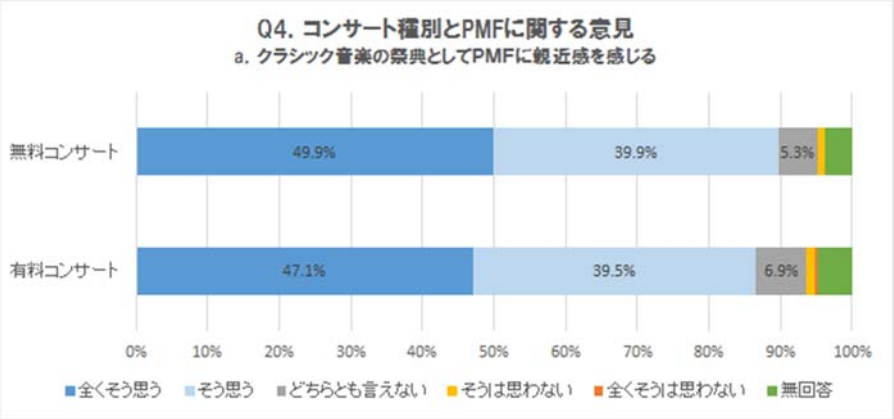


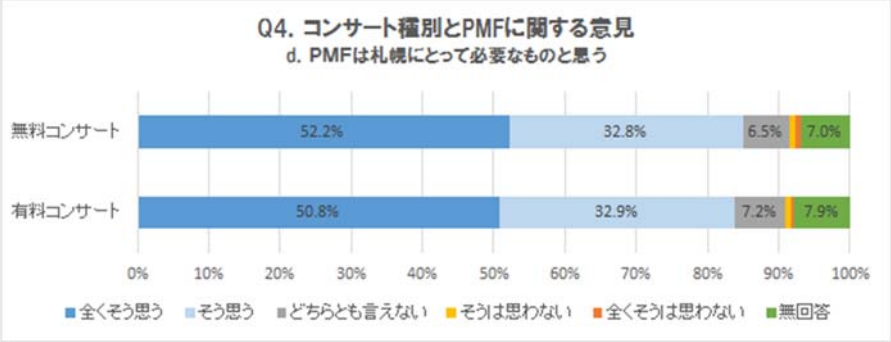
参加形態を比較すると、友人と来場の割合が無料コンサートで 6%ポイントほど高くなっている。この点をさらに参加時期別に詳細に確認すると、特に友人あるいは家族とともに来場とする人たちの参加履歴が最近年のケースが 60%弱となっていることがわかる。

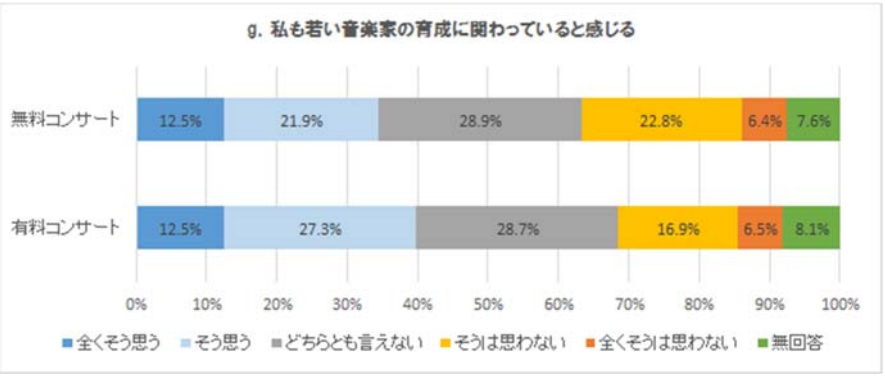
これらのことから、無料コンサートは新規参加者を獲得することに一定の効果を持っていると考えることが出来、この点に配慮した運営によってＰＭＦの支持基盤を拡大することにつながると考えられる。その意味から、大通公園コンサートやオープニングコンサートにおいて有料コンサートのチケットを一定の条件で配布したことは、ここで示唆を得られた有料コンサートへの誘導を後押しする効果を持ったのではないかと想像される。

次にＰＭＦに関する意識・意見について、無料コンサート参加者と有料コンサート参加者の間に差異があるかどうかを見ていく。以下に抜粋を示し、付属資料４－③に全項目の集計結果を示すが、総じて参加時期別や情報発信行動の有無で見たような顕著な傾向は見出せない。以下に抜粋した質問項目について見ると、項目 a、g、i は統計的に有意な差が確認

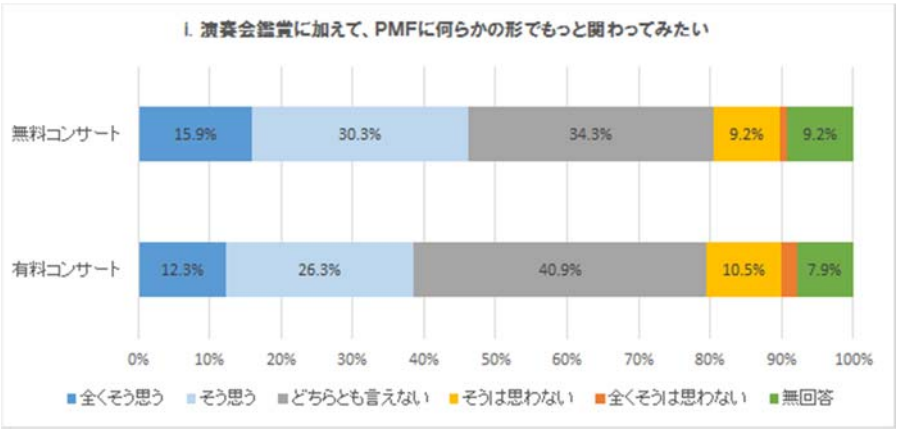
されるが、項目 d、n では差が認められない。有意な差が認められる項目についても一定の傾向があるわけではなく、項目 a では無料コンサート参加者の方に肯定的意見が多いのに対して、項目 g では逆に有料コンサートの参加者の方が肯定的意見の比率が高くなっている[4]。一つの解釈として、無料であることで参加の容易な祭典として捉えられていることから親近感が生じていると理解することができる。一方、項目 g に関しては PMF の趣旨についての理解に基づく意見となるために、より積極的な関与となる有料コンサートの参加者で比率が高くなったと考えられる。

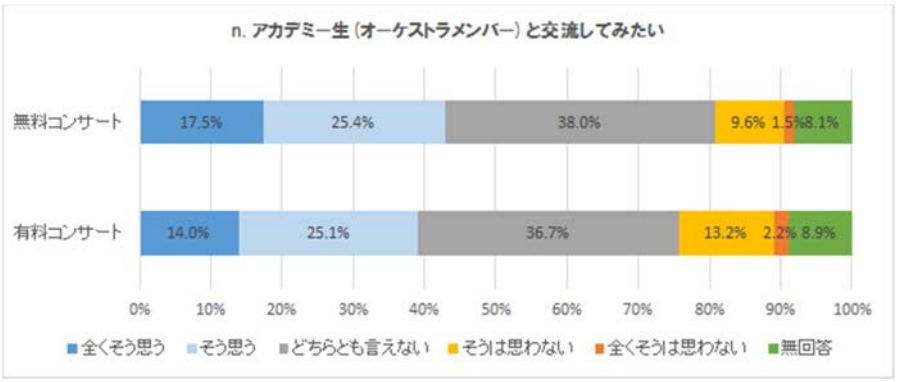






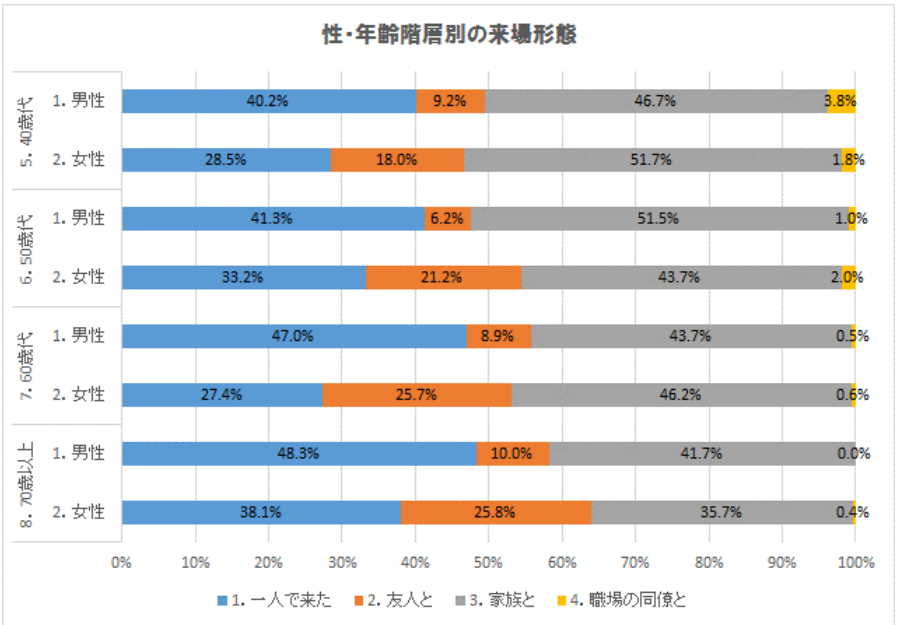
[4] 母比率の検定を実施したところ、設問 a では $p<0.05$、設問 d では ns、設問 g では $p<0.01$、設問 i では $p<0.01$、設問 n では ns で、ここで取り上げた 5 項目のうち、2 項目で比率の差が有意であることは確認できなかった。





7）回答者プロフィールより

回答者属性を確認する質問項目の中で、同行者を確認する来場形態に関する設問を設けた。次の回答者属性の項で示すが、33%が一人で来場としている。40 歳代以上について男女別に来場形態を見ると、男性では 40%を超える来場者が単独の来場である。



7）Q5 自由記入欄

3,834 件の回答のうち、964 件の記入、25.1%、4 人に一人が自由記入欄に記入した。この比率は極めて高く、回答者の関心の高さを示している。

自由記入回答の詳細は別冊として整理する。

3. 考察

PMF の来場者調査は過去に何回か実施されているが、今回の調査では来場者の行動と意識を把握することに焦点を当てた。有効回収率は当初想定を大きく上回る 43.8%で、大変高い回収率を達成できた。自由記入欄への記入率の高さともあいまって、参加者の関心の高さと PMF に寄せる思いの強さを感じさせる結果となった。

今回の調査結果から、とくに次の 3 点についてまとめておきたい。

① 来場者の継続参加に向けて

本年の総来場者数は 44,260 人であった。昨年の 37,226 人から 7,034 人の増加だが、昨年の 33 公演から本年は 50 公演と大幅に公演数が増加している点に留意しておく必要がある。単純に公演当たりの平均を計算すると、昨年の公演当たり 1,128 人から 885 人に減少している。

PMF に対する支持基盤の拡大深化を考える際に重要な点は、如何に継続的な参加を促していくかである。PMF に関する意見・意識を把握した上述の 4）節で見たとおり、継続的な参加と肯定的、積極的な支持層の比率に強い相関がある。継続して参加することによって、PMF に対する理解が深まり、同時にクラシック音楽への嗜好が確かなものになっていくことが期待できる。

継続的参加が昨年から本年にかけてどのような状況であったのか、仮説的な資産を試みた結果が下表である。ここでは昨年の参加時期の構成比を調査結果と同等と仮定して計算したものである。25 周年で公演数も拡大したことから以前から参加の人たちの来場が増えたことは想像に難くないが、初期からの参加者ではネットで 2,134 人、2000 年代からの参加者では 1,891 人の増と想定される。これに対して参加経験の短い人々ではネットで大幅減少となっており、継続参加を促すまでに至っていない。もちろんこれは極めて仮想的な試算であるが、1 回ないし 2 回参加の人たちのリテンションを検討する必要がありそうである。

表　継続的参加の状況

	a. 2013年	b. 13⇒14	c. 2014年	d. 増減数
1990年代から	11,291	11,291	13,425	2,134
2000年代から	10,008	10,008	11,899	1,891
2010年代から	6,834	15,927	8,126	-7,801
今年が初めて	9,093		10,811	10,811
計	37,226		44,260	

② 来場者の拡大に向けて

継続参加を促すことで来場者増に結びつけることが可能だが、さらに別の観点から来場者増を考えてみたい。来場形態で確認した通り、一人で来場するケースが 3 人に一人の割合となっている。この人達が家族や友人と来場する行動を取れば、計算上はそれだけで大幅な来場者増となる。この層に如何に働きかけるか、様々な工夫の余地はありそうである。特に中高年男性層で単独来場のケースが多いので、学生チームでの議論の中では「おじいさんと孫」向けのペアチケットといったアイデアも出ている。

③ 情報提供の工夫と“口コミ”の後押しに向けて

新たな聴衆を獲得し、継続的な参加を促していくためにも、情報提供は重要である。活発な情報発信があることが PMF への関心の高さ、支持の厚みを物語る証左となる組織委員会や札幌市の情報発信やマスメディアによる報道の状況も重要であるが、同時に市民層のあいだでの話題になっていないと、支持層の拡大にはつながらない。今回の調査結果から多くの参加者が PMF に関する話題を共有する、伝える行動を取っている。そして、その内容は PMF に好意的な内容であると推測される。

今回の調査では情報発信の頻度は確認できていないが、このような自発的な、個人レベルの情報発信を後押しするための情報提供という視点を持っても良いだろう。

④ 来場者調査の継続について

これまでも来場者を対象としたアンケート調査は何回か実施されてきた。しかし、今回の調査では来場行動と来場者の意識に焦点を当て、PMF に対する支持基盤の維持拡大を問題意識として実施した。大変多くの来場者の方々の協力を得られたこと自体、多くを物語るものであるが、単年度の調査では限界があることも事実である。今後、同様の調査を実施していくことで、聴衆、来場者との関係作りから支持基盤の拡充に資する示唆を獲得していくことができる。

付属資料１　質問票

今回の調査で使用した質問票は次ページの通りである。

PMFに関する意識調査

PMFは本年 25 回目を迎えました。これまで多くの方々に支えられて 25 回の歴史を積み重ねてきました。今後、さらにPMFを発展させていくために皆様の率直なご意見をお聞きしたく、この調査を実施しています。ご回答には 5 分程度の時間を頂戴しますが、どうかご協力をお願いします。なお、ご回答内容は統計的に処理し、個別の内容を開示することは一切ございません。この調査は、公益財団法人PMF組織委員会と北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院プロジェクトチームが共同で実施しています。

ご回答済みの調査票の回収箱への投函をもって、本調査の主旨をご理解頂き、回答に合意いただいたことの確認とさせていただきます。

Q1. PMFの演奏会に最初においでになったのはいつごろですか。該当する項目を一つお選びください。

a. 1990 年代　b. 2000 年代　c. 2010 年以降　d. 今年が初めて

Q2. 札幌ではPMF以外に、年間を通して様々な文化芸術活動が行われています。

Q2-1.　ご存知のものを全て、○印でお答えください

a. 札幌国際芸術祭　b. サッポロ・シティ・ジャズ　c. 札幌国際短編映画祭　d. 雪まつり
e. よさこいソーランまつり　f. 札幌演劇シーズン　g. さっぽろアートステージ　h. オータムフェスト

Q2-2.　鑑賞、見学、ボランティア活動など何らかの形で直接参加されているものを全て、○印でお答えください

a. 札幌国際芸術祭　b. サッポロ・シティ・ジャズ　c. 札幌国際短編映画祭　d. 雪まつり
e. よさこいソーランまつり　f. 札幌演劇シーズン　g. さっぽろアートステージ　h. オータムフェスト

Q3-1. PMFについてお知りになりたいことがあるとき、どのような情報源を利用されますか。該当する項目全てを○印でお示しください。

a. テレビ　b. 新聞　c. PMFのホームページ　d. PMFフレンズのニュースレター　e. PMFのパンフレット
f. フェイスブック、ツイッターなどのSNS　g. 友人・知人　h. 街頭広告　i. 広報さっぽろ　j. 音楽雑誌
k. インターネットのクラシック音楽サイト　l. その他（具体的にお教えください＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q3-2. お知りになりたいことは苦労なく入手できていますか。　a. はい⇒Q3-3へ　b. いいえ

⇩

Q3-2-SQ. “いいえ”と答えられた方にうかがいます。PMFに関するニュース、情報で入手が難しいと感じられるものはありますか。該当する項目すべてを○印でお答えください。

a. 演奏会日程　b. 演奏者情報　c. PMFアカデミー生に関すること　d. 演奏会以外の活動
e. 組織委員会に関すること　f. 来年以降の日程・内容　g. PMFアカデミー修了生の近況　h. その他

Q3-3. PMFに関してのご自身の感想や印象などを誰かに伝えていますか／伝えたことはありますか。

a. はい　b. いいえ⇒SQ2へ

⇩

Q3-3-SQ1　どのように伝えていますか／伝えたことがありますか。該当する項目を全て○印でお示しください。

a. 直接、会話で　b. 電話　c. 手紙　d. 電子メール　e. ブログ　f. フェイスブック、ツイッターなどのSNS
g. 新聞投稿　h. その他（具体的にお教えください：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q3-3-SQ2　“いいえ”とお答えの方にお尋ねします。今後、PMF について伝えていきたいとお考えでしょうか。

a. はい　b. いいえ

Q4. 以下の項目について、あなたのお考えやお気持ちに近い番号に○印を付けてください。

	全くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そうは思わない	全くそうは思わない
a. クラシック音楽の祭典としてＰＭＦに親近感を感じる	1	2	3	4	5
b. ＰＭＦが札幌で開催されていることを誇りに思う	1	2	3	4	5
c. ＰＭＦは敷居が高く身近には感じない	1	2	3	4	5
d. ＰＭＦは札幌にとって必要なものと思う	1	2	3	4	5
e. 私たちは PMF を通じて世界の音楽文化の発展に寄与している	1	2	3	4	5
f. ＰＭＦの演奏会以外の教育・普及活動の内容は良く分からない	1	2	3	4	5
g. 私も若い音楽家の育成に関わっていると感じる	1	2	3	4	5
h. ＰＭＦをもっと多くの人に知ってもらいたい	1	2	3	4	5
i. 演奏会鑑賞に加えて、ＰＭＦに何らかの形でもっと関わってみたい	1	2	3	4	5
j. 札幌市内にいても開催の状況が伝わってこない	1	2	3	4	5
k. これからも長く続いてほしい	1	2	3	4	5
l. 札幌市はもっと文化芸術活動を支援するべきだ	1	2	3	4	5
m. 札幌で実施される文化芸術活動の中でもＰＭＦは特別だ	1	2	3	4	5
n. アカデミー生(オーケストラメンバー)と交流してみたい	1	2	3	4	5
o. 私はクラシック音楽を良く聴くほうだ	1	2	3	4	5

Q5. PMFに関してご意見等がありましたら、記入をお願いします。

質問は以上です。統計的分析のためにご自身についてお尋ねします。該当する番号に○印でお答えください。

あなたは　1. 男性　2. 女性

あなたのお住まいは　1. 札幌市　2. 札幌市以外の北海道　3. 北海道外：東北・関東
4. 北海道外：中部・関西・中四国・九州・沖縄　5. 国外

道外からお越しの方に伺います。今回のご旅行は何泊のご予定でしょうか。＿＿＿＿泊

あなたの年齢は　1. 小・中学生　2. 高校生～19 歳　3. 20 歳代　4. 30 歳代
5. 40 歳代　6. 50 歳代　7. 60 歳代　8. 70 歳以上

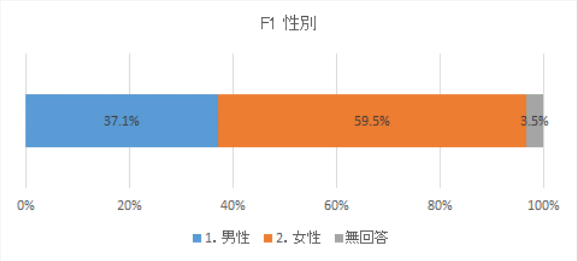
あなたはＰＭＦフレンズ会員ですか　1. はい　2. いいえ

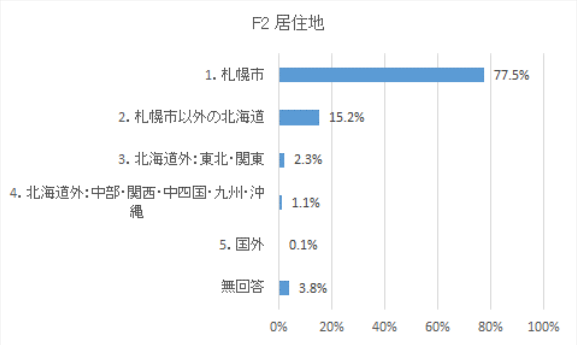
あなたはクラシックやオペラ団体のファンクラブに所属していますか　1. はい　2. いいえ

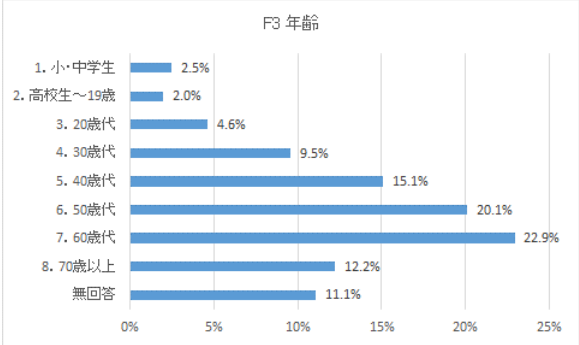
本日の演奏会には　1. 一人で来た　2. 友人と　3. 家族と　4. 職場の同僚と

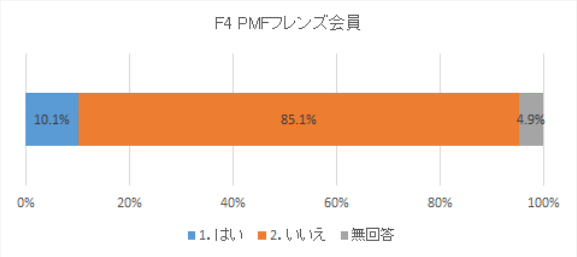
＜ご協力を誠にありがとうございました。＞

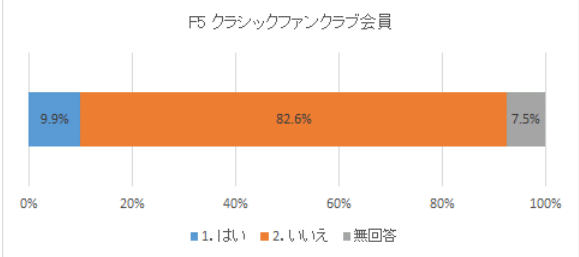
付属資料２　回答者属性（フェース・シート）

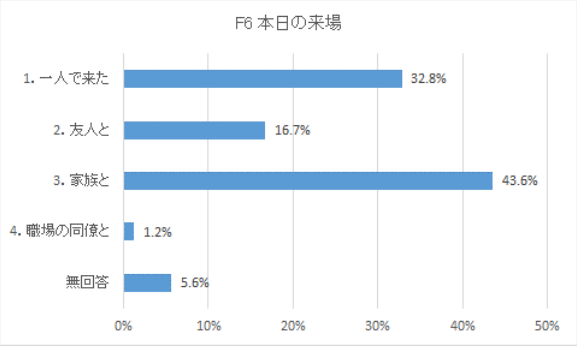




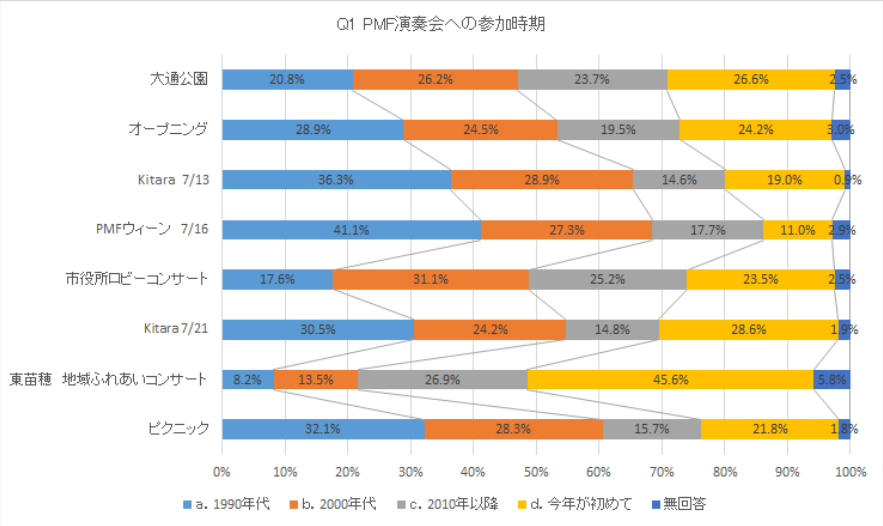


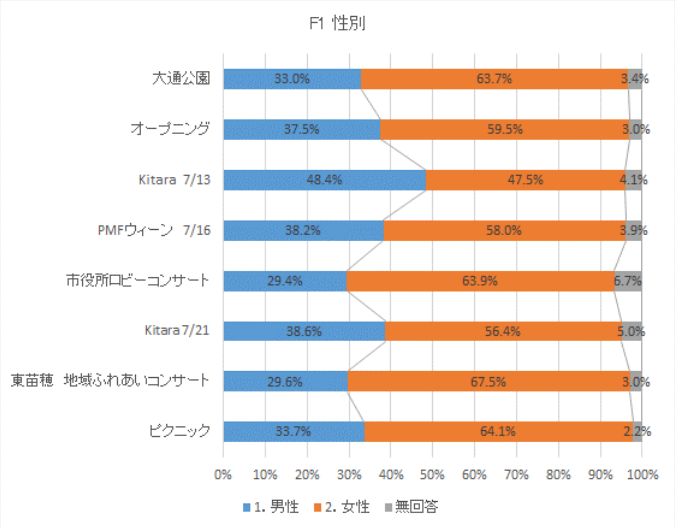


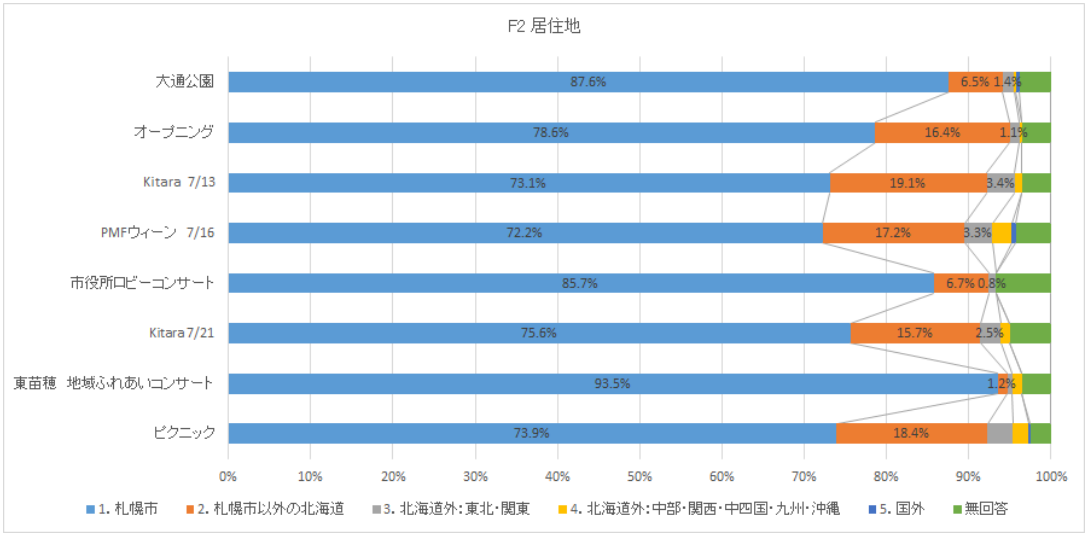


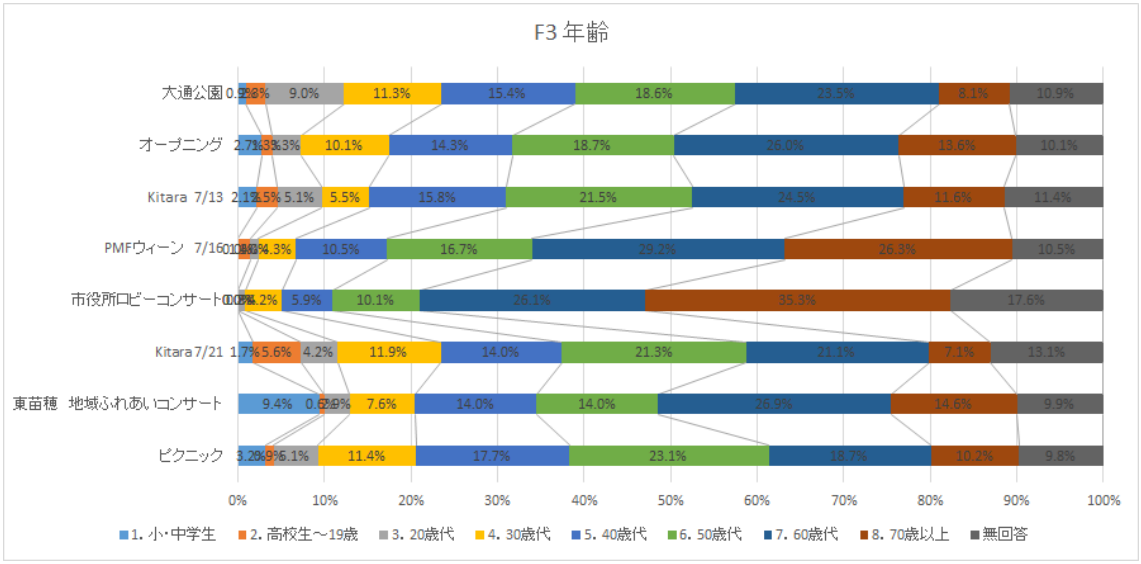


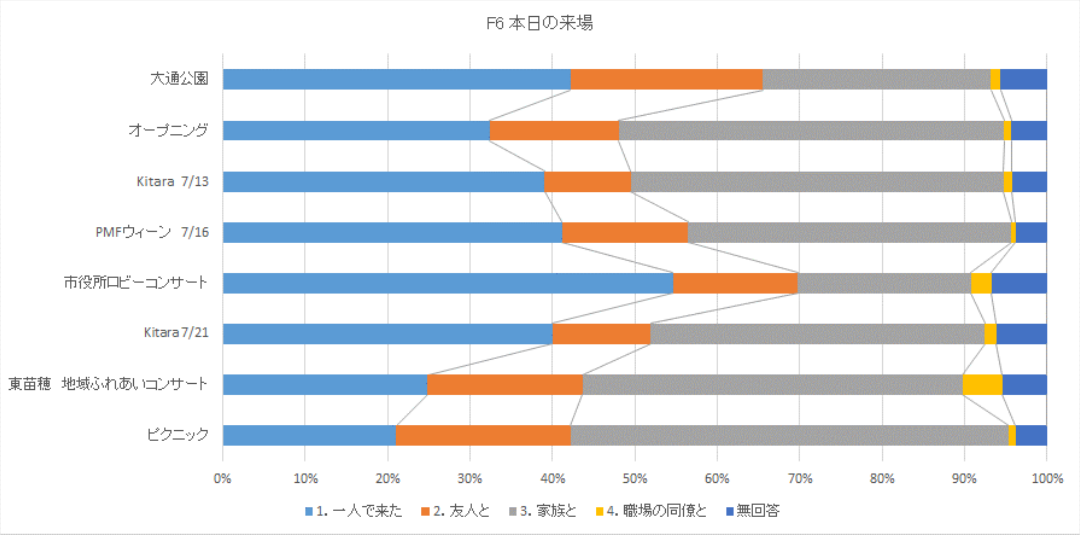
付属資料３　コンサート別の回答者属性の比較





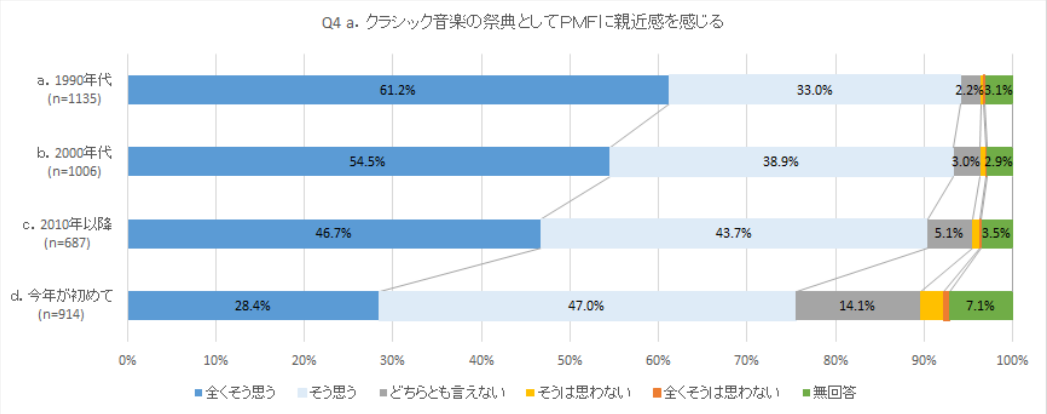

F2 居住地
大通公園
オープニング
Kitara 7/13
PMFウィーン 7/16
市役所ロビーコンサート
Kitara 7/21
東苗穂 地域ふれあいコンサート
ピクニック
87.6%
6.5%
1.4%
78.6%
16.4%
1.1%
73.1%
19.1%
3.4%
72.2%
17.2%
3.3%
85.7%
6.7%
0.8%
75.6%
15.7%
2.5%
93.5%
1.2%
73.9%
18.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1. 札幌市
2. 札幌市以外の北海道
3. 北海道外：東北・関東
4. 北海道外：中部・関西・中四国・九州・沖縄
5. 国外
無回答

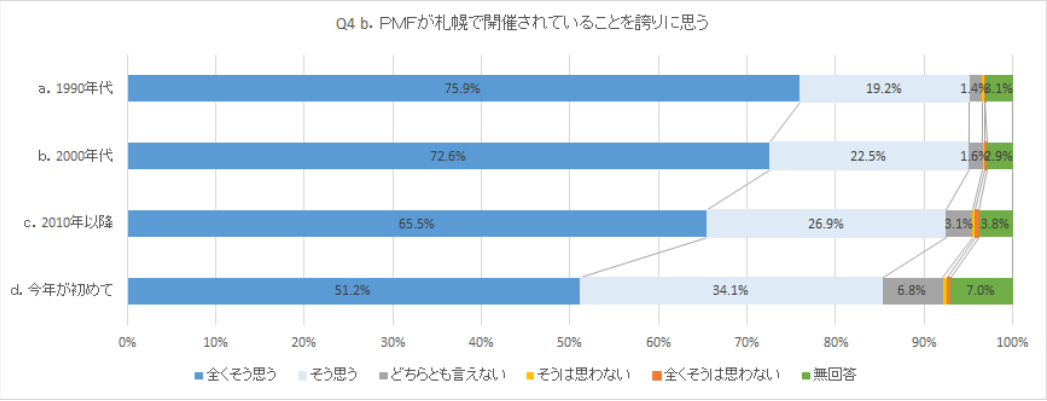

F3 年齢
大通公園
オープニング
Kitara 7/13
PMFウィーン 7/16
市役所ロビーコンサート
Kitara 7/21
東苗穂 地域ふれあいコンサート
ピクニック
9.0%
11.3%
15.4%
18.6%
28.5%
8.1%
10.9%
10.1%
14.3%
18.7%
26.0%
13.6%
10.1%
5.1%
5.5%
15.8%
21.5%
24.5%
11.6%
11.4%
10.5%
16.7%
29.2%
26.3%
10.5%
5.9%
10.1%
26.1%
35.3%
17.6%
5.6%
4.2%
11.9%
14.0%
21.3%
21.1%
7.1%
13.1%
9.4%
7.6%
14.0%
14.0%
26.9%
14.6%
9.9%
11.4%
17.7%
23.1%
18.7%
10.3%
9.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1. 小・中学生
2. 高校生～19歳
3. 20歳代
4. 30歳代
5. 40歳代
6. 50歳代
7. 60歳代
8. 70歳以上
無回答

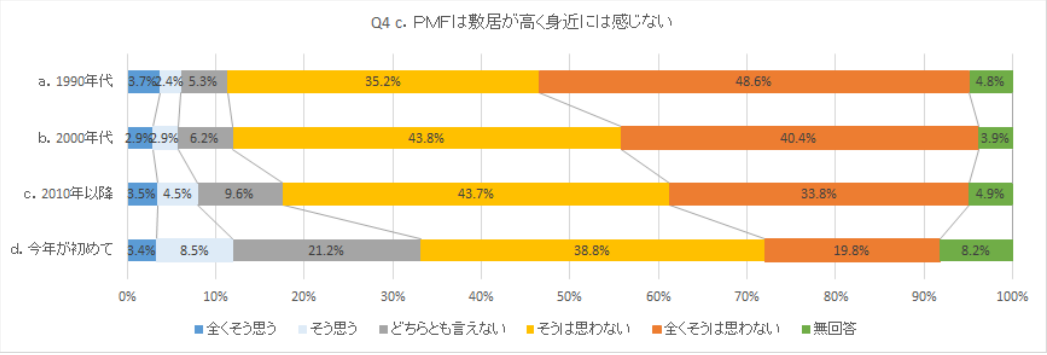

F6 本日の来場
大通公園
オープニング
Kitara 7/13
PMFウィーン 7/16
市役所ロビーコンサート
Kitara 7/21
東苗穂 地域ふれあいコンサート
ピクニック
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1. 一人で来た
2. 友人と
3. 家族と
4. 職場の同僚と
無回答

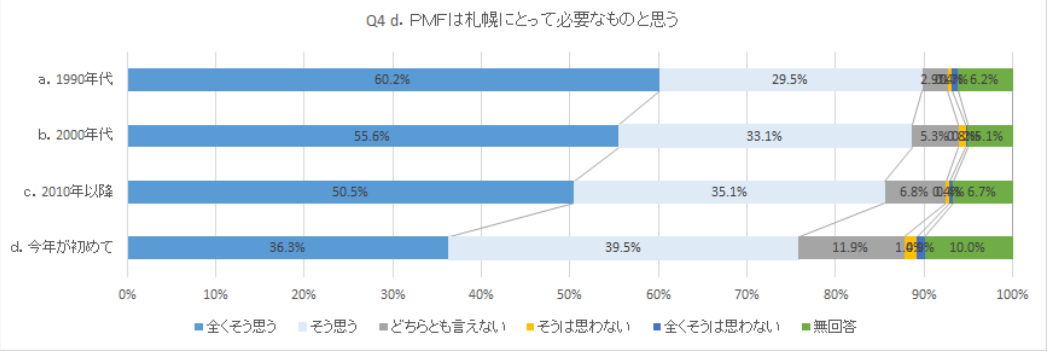
付属資料4

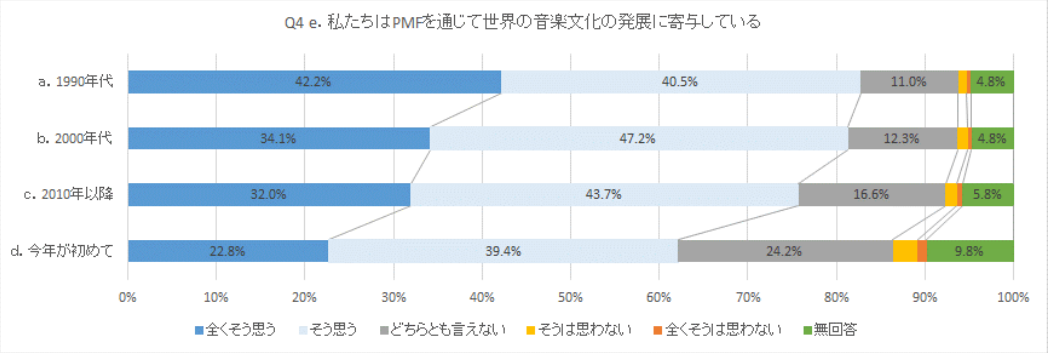
① PMF への参加時期と PMF に関する意見・意識のクロス集計結果

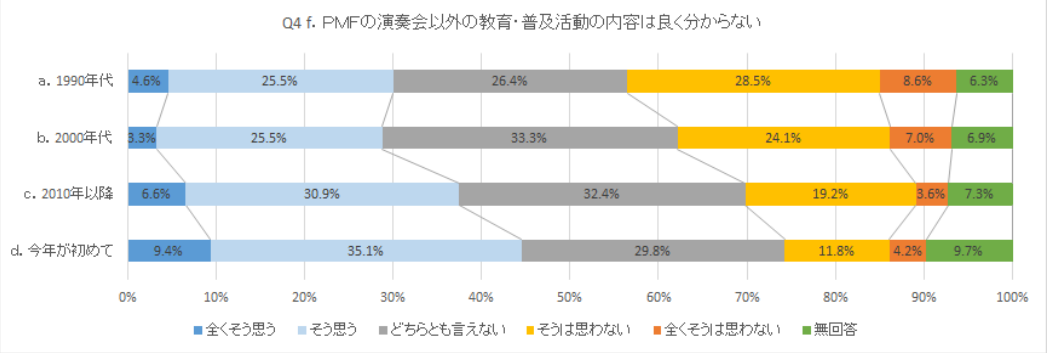


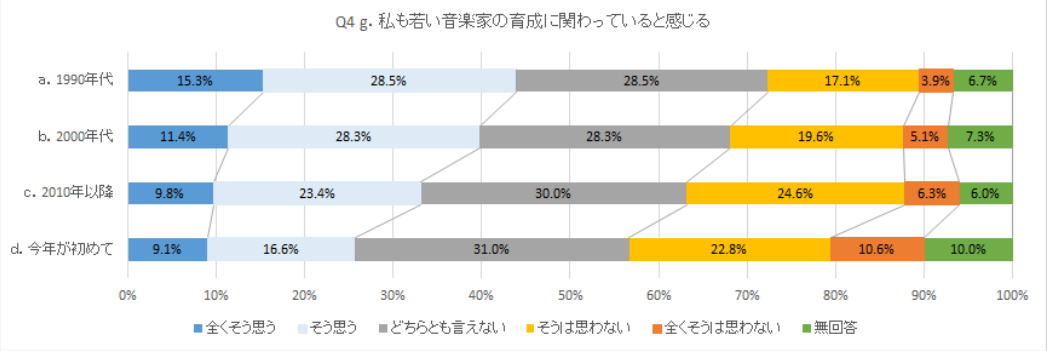


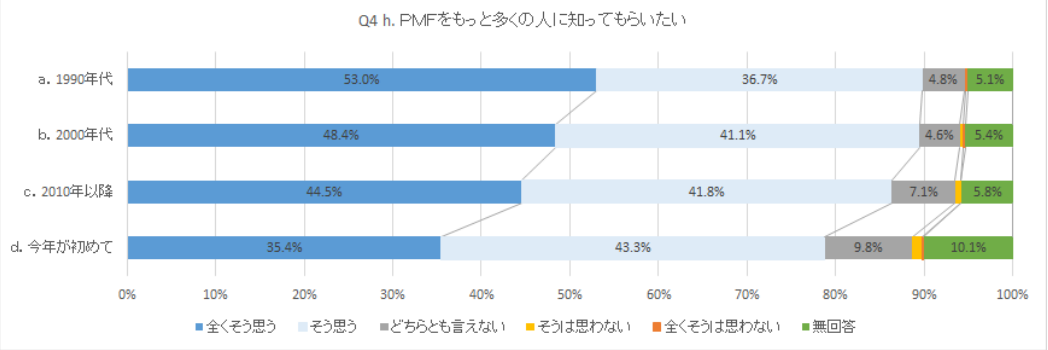


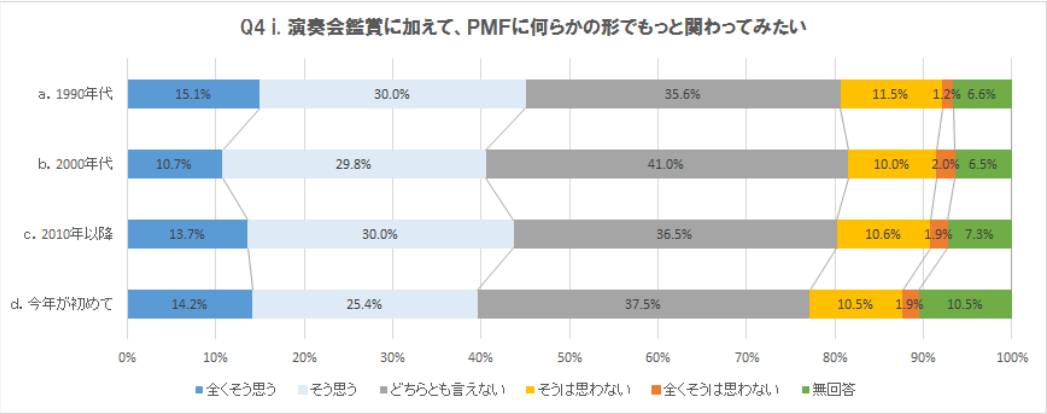


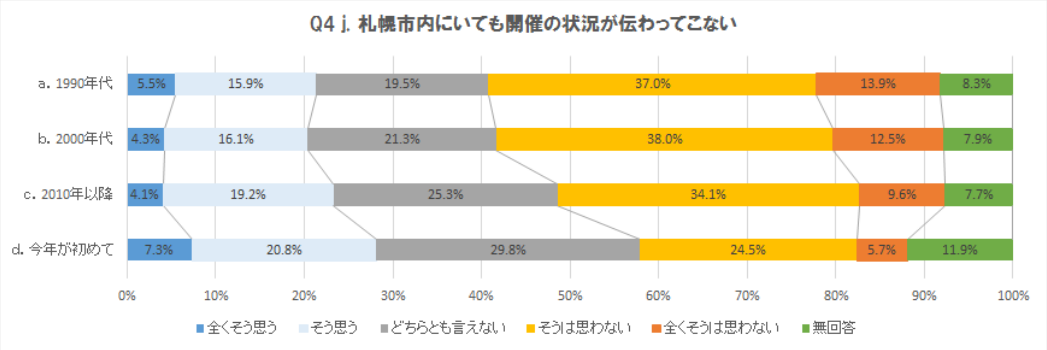

Q4 e. 私たちはPMFを通じて世界の音楽文化の発展に寄与している
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
42.2%
40.5%
11.0%
4.8%
34.1%
47.2%
12.3%
4.8%
32.0%
43.7%
16.6%
5.8%
22.8%
39.4%
24.2%
9.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

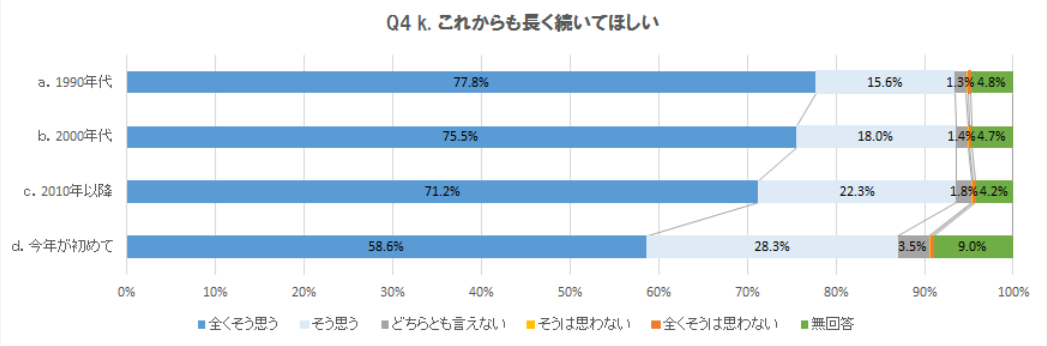

Q4 f. PMFの演奏会以外の教育・普及活動の内容は良く分からない
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
4.6%
25.5%
26.4%
28.5%
8.6%
6.3%
3.3%
25.5%
33.3%
24.1%
7.0%
6.9%
6.6%
30.9%
32.4%
19.2%
3.6%
7.3%
9.4%
35.1%
29.8%
11.8%
4.2%
9.7%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

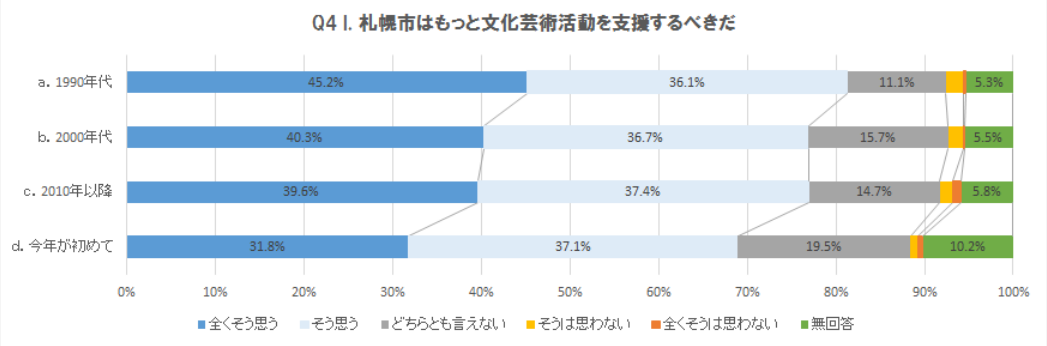

Q4 g. 私も若い音楽家の育成に関わっていると感じる
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
15.3%
28.5%
28.5%
17.1%
3.9%
6.7%
11.4%
28.3%
28.3%
19.6%
5.1%
7.3%
9.8%
23.4%
30.0%
24.6%
6.3%
6.0%
9.1%
16.6%
31.0%
22.8%
10.6%
10.0%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

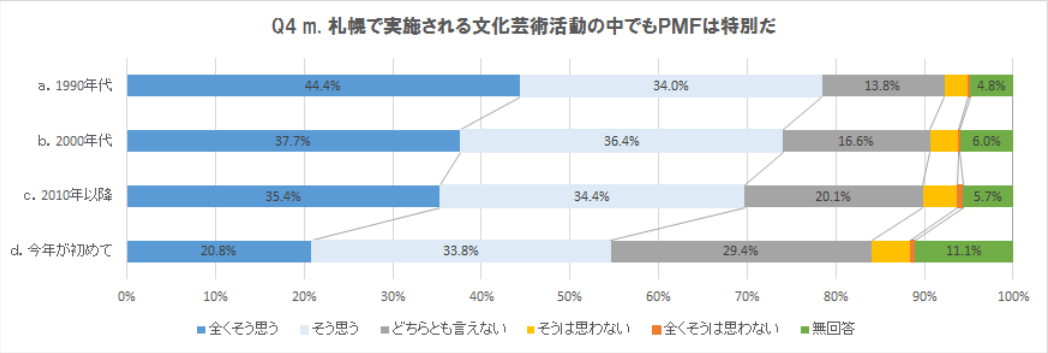

Q4 h. PMFをもっと多くの人に知ってもらいたい
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
53.0%
36.7%
4.8%
5.1%
48.4%
41.1%
4.6%
5.4%
44.5%
41.8%
7.1%
5.8%
35.4%
43.3%
9.8%
10.1%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

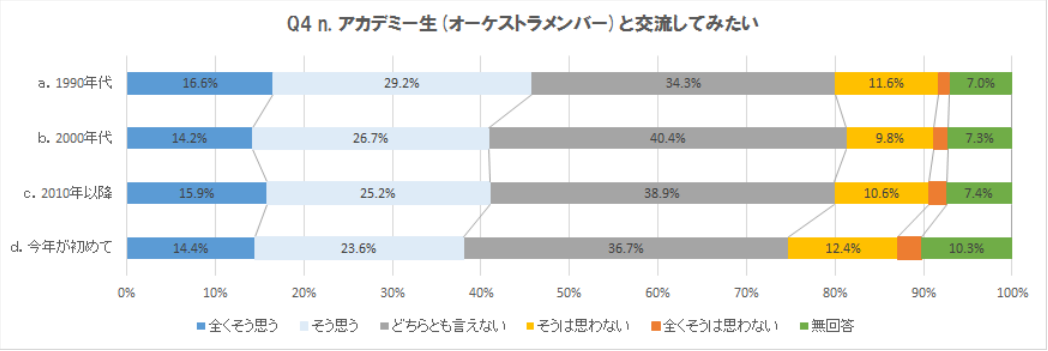

Q4 i. 演奏会鑑賞に加えて、PMFに何らかの形でもっと関わってみたい
a. 1990年代
15.1%
30.0%
35.6%
11.5%
1.2%
6.6%
b. 2000年代
10.7%
29.8%
41.0%
10.0%
2.0%
6.5%
c. 2010年以降
13.7%
30.0%
36.5%
10.6%
1.9%
7.3%
d. 今年が初めて
14.2%
25.4%
37.5%
10.5%
1.9%
10.5%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

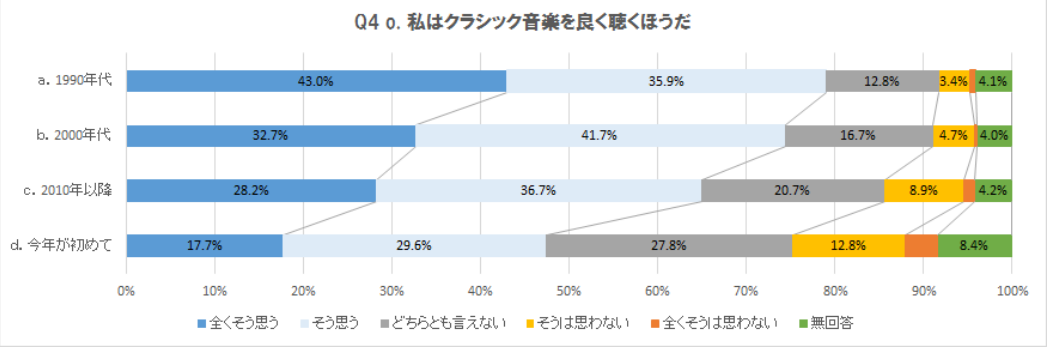

Q4 j. 札幌市内にいても開催の状況が伝わってこない
a. 1990年代
5.5%
15.9%
19.5%
37.0%
13.9%
8.3%
b. 2000年代
4.3%
16.1%
21.3%
38.0%
12.5%
7.9%
c. 2010年以降
4.1%
19.2%
25.3%
34.1%
9.6%
7.7%
d. 今年が初めて
7.3%
20.8%
29.8%
24.5%
5.7%
11.9%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4 k. これからも長く続いてほしい
a. 1990年代
77.8%
15.6%
1.3%
4.8%
b. 2000年代
75.5%
18.0%
1.4%
4.7%
c. 2010年以降
71.2%
22.3%
1.8%
4.2%
d. 今年が初めて
58.6%
28.3%
3.5%
9.0%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

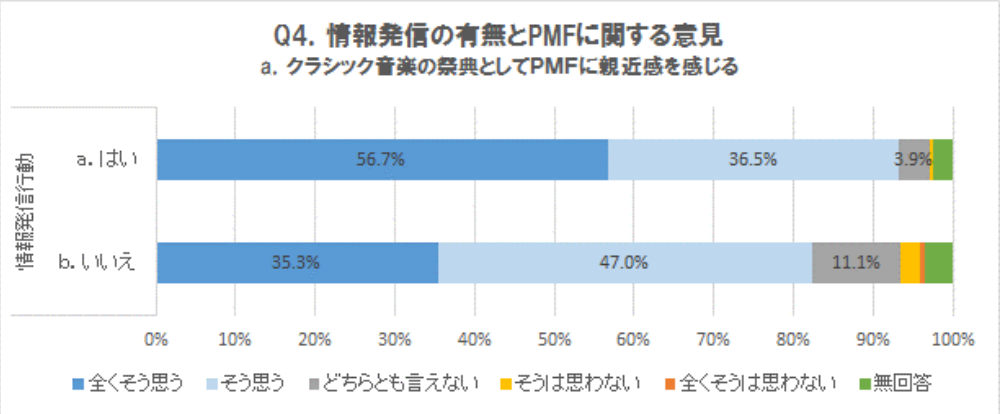

Q4 l. 札幌市はもっと文化芸術活動を支援するべきだ
a. 1990年代
45.2%
36.1%
11.1%
5.3%
b. 2000年代
40.3%
36.7%
15.7%
5.5%
c. 2010年以降
39.6%
37.4%
14.7%
5.8%
d. 今年が初めて
31.8%
37.1%
19.5%
10.2%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

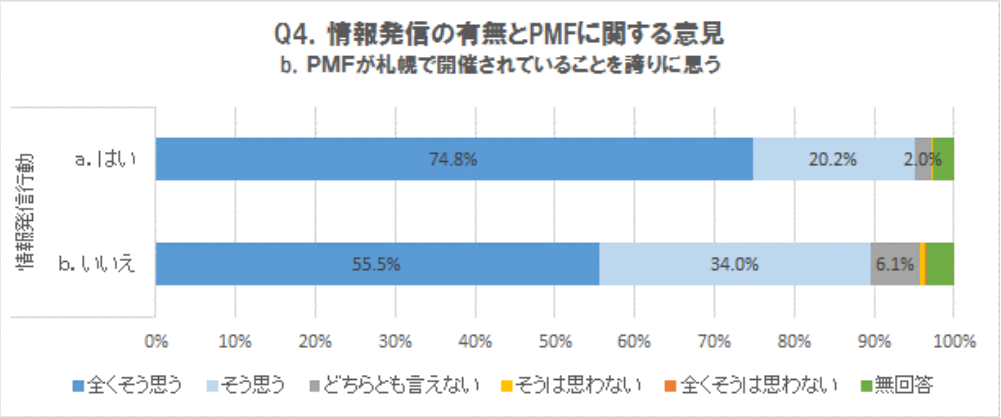

Q4 m. 札幌で実施される文化芸術活動の中でもPMFは特別だ
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
44.4%
34.0%
13.8%
4.8%
37.7%
36.4%
16.6%
6.0%
35.4%
34.4%
20.1%
5.7%
20.8%
33.8%
29.4%
11.1%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

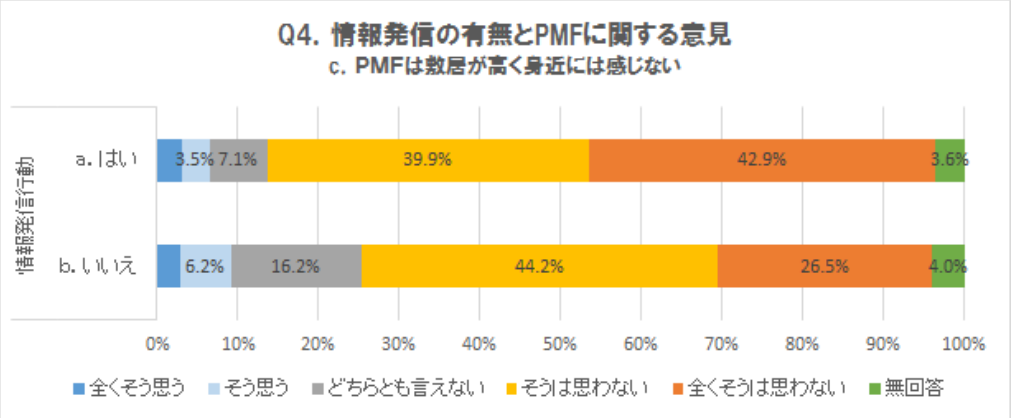

Q4 n. アカデミー生（オーケストラメンバー）と交流してみたい
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
16.6%
29.2%
34.3%
11.6%
7.0%
14.2%
26.7%
40.4%
9.8%
7.3%
15.9%
25.2%
38.9%
10.6%
7.4%
14.4%
23.6%
36.7%
12.4%
10.3%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

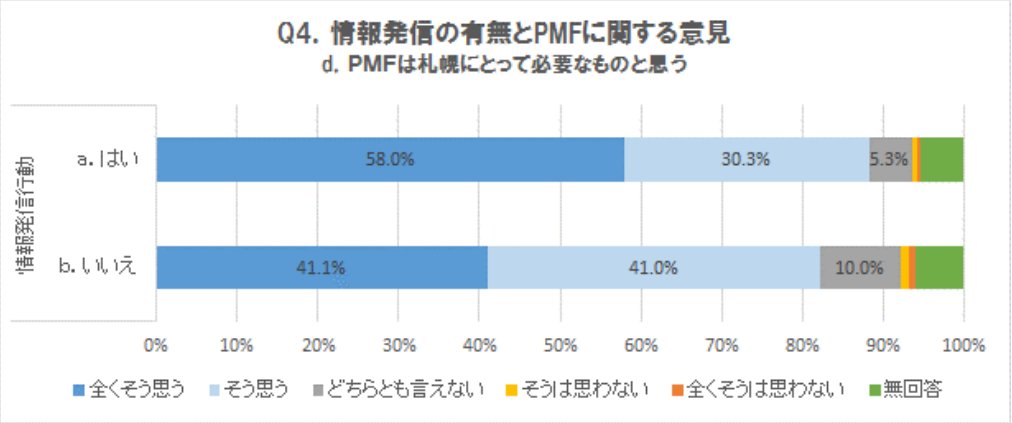

Q4 o. 私はクラシック音楽を良く聴くほうだ
a. 1990年代
b. 2000年代
c. 2010年以降
d. 今年が初めて
43.0%
35.9%
12.8%
3.4%
4.1%
32.7%
41.7%
16.7%
4.7%
4.0%
28.2%
36.7%
20.7%
8.9%
4.2%
17.7%
29.6%
27.8%
12.8%
8.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

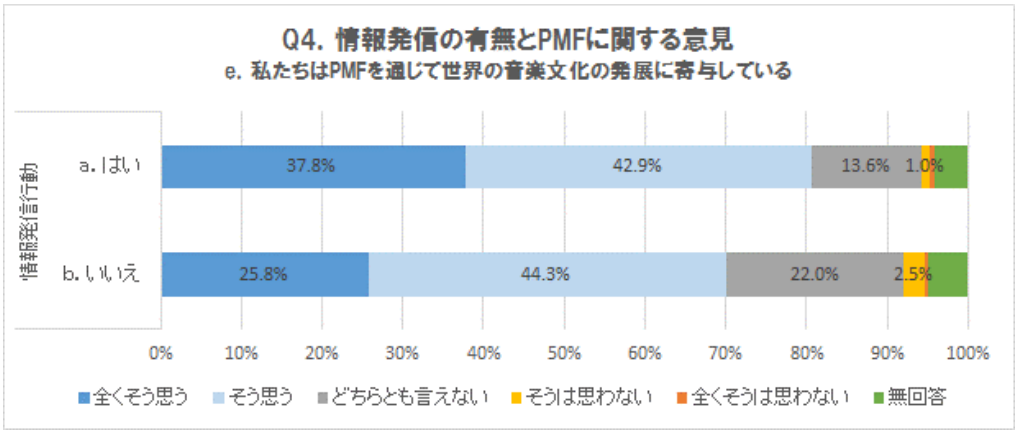
② 情報発信行動と PMF に関する意見、意識のクロス集計結果

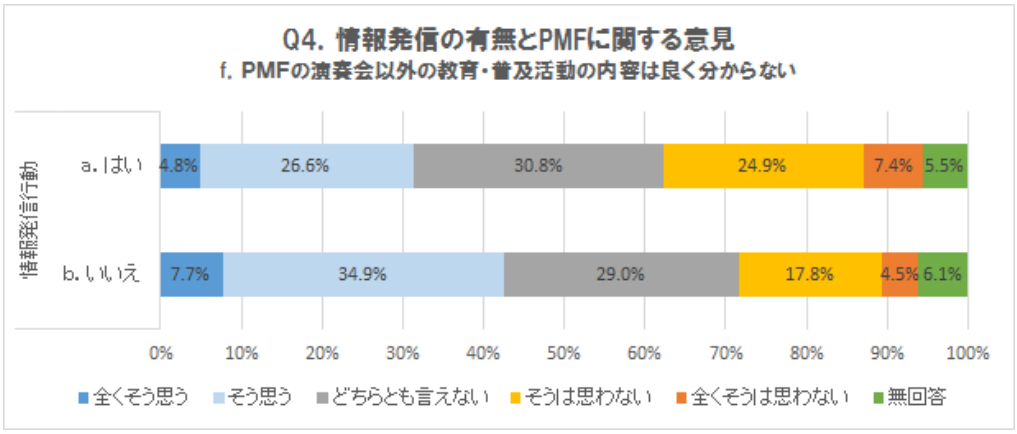


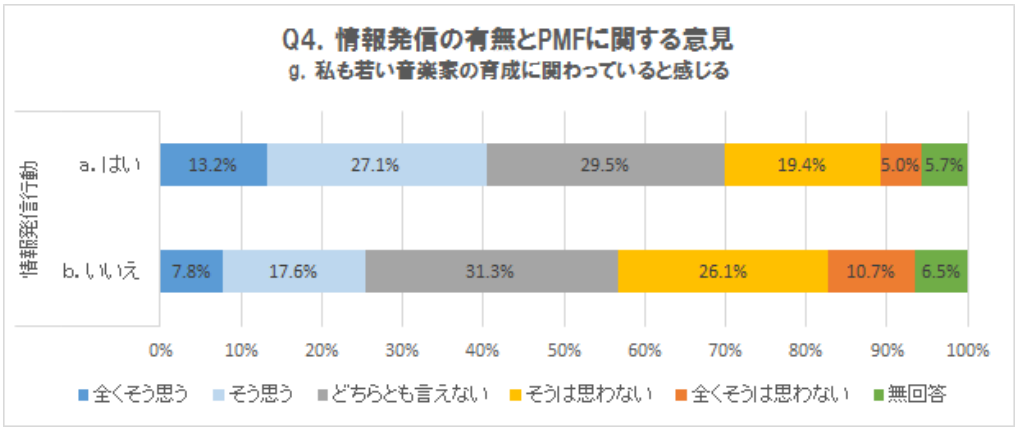


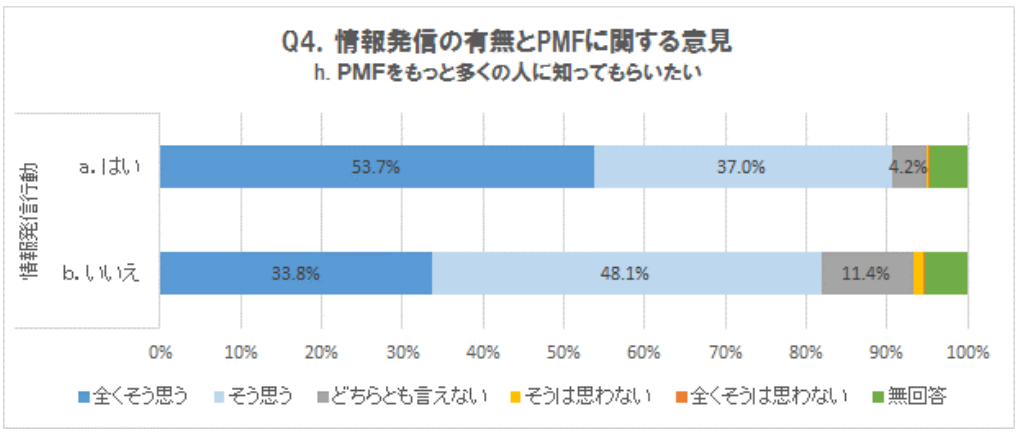


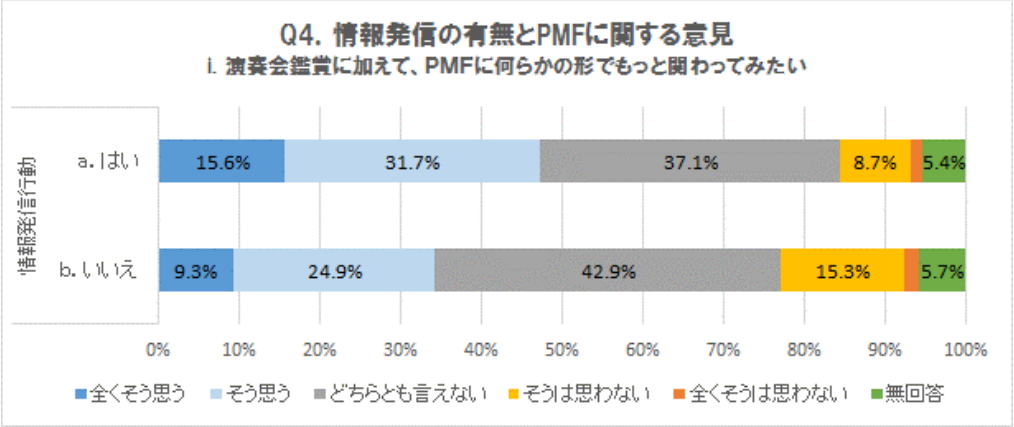


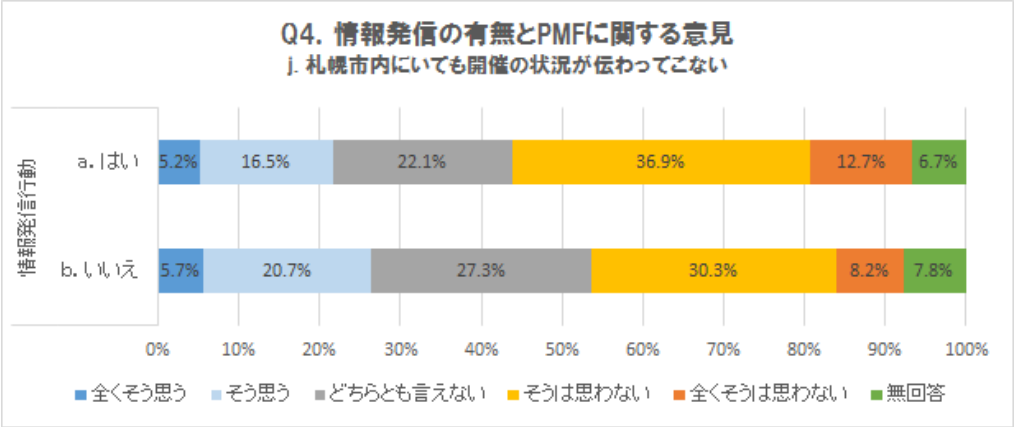

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
e. 私たちはPMFを通じて世界の音楽文化の発展に寄与している
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
37.8%
42.9%
13.6%
1.0%
25.8%
44.3%
22.0%
2.5%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

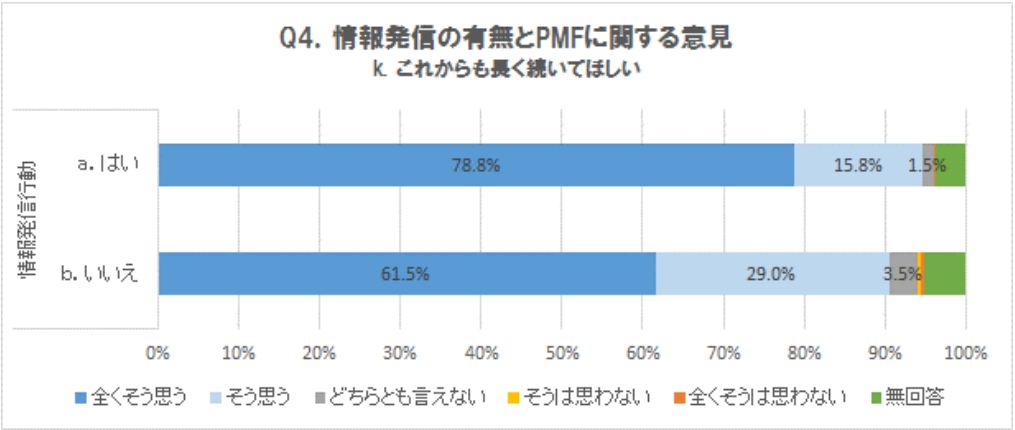

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
f. PMFの演奏会以外の教育・普及活動の内容は良く分からない
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
4.8%
26.6%
30.8%
24.9%
7.4%
5.5%
7.7%
34.9%
29.0%
17.8%
4.5%
6.1%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

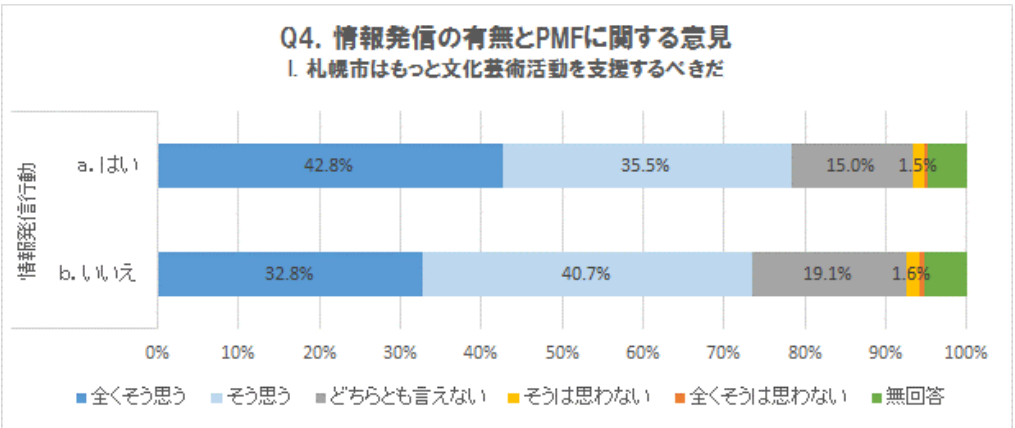

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
g. 私も若い音楽家の育成に関わっていると感じる
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
13.2%
27.1%
29.5%
19.4%
5.0%
5.7%
7.8%
17.6%
31.3%
26.1%
10.7%
6.5%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

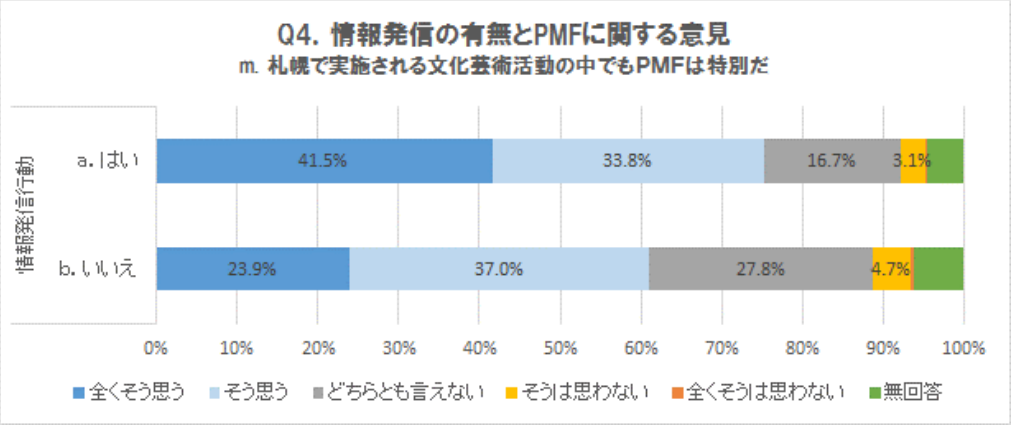

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
h. PMFをもっと多くの人に知ってもらいたい
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
53.7%
37.0%
4.2%
33.8%
48.1%
11.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

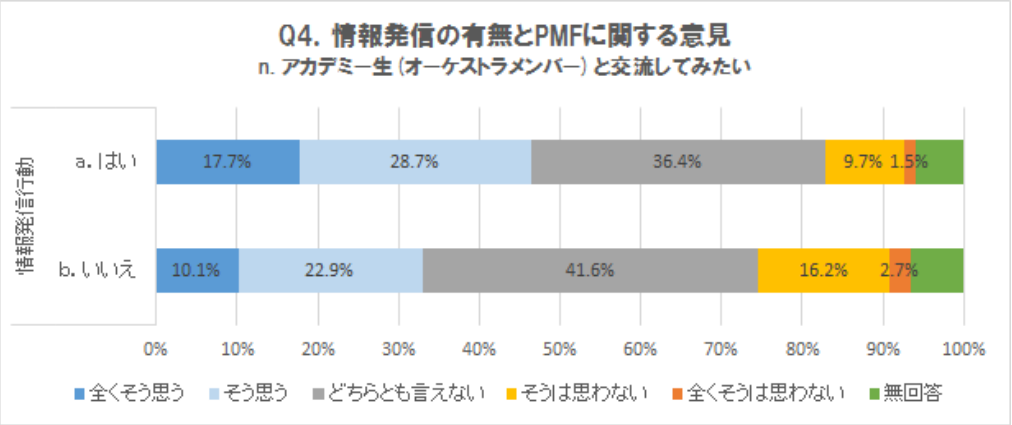

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
i. 演奏会鑑賞に加えて、PMFに何らかの形でもっと関わってみたい
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
15.6%
31.7%
37.1%
8.7%
5.4%
9.3%
24.9%
42.9%
15.3%
5.7%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

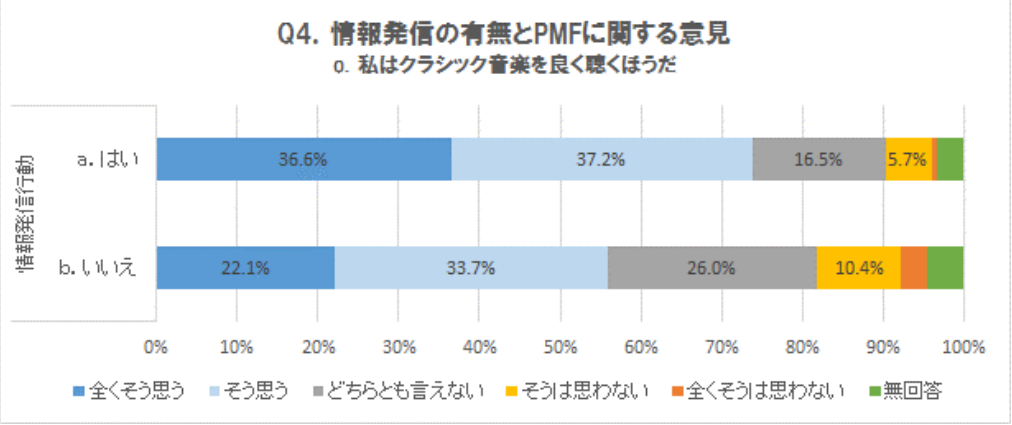

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
j. 札幌市内にいても開催の状況が伝わってこない
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
5.2%
16.5%
22.1%
36.9%
12.7%
6.7%
5.7%
20.7%
27.3%
30.3%
8.2%
7.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
k. これからも長く続いてほしい
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
78.8%
15.8%
1.5%
61.5%
29.0%
3.5%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

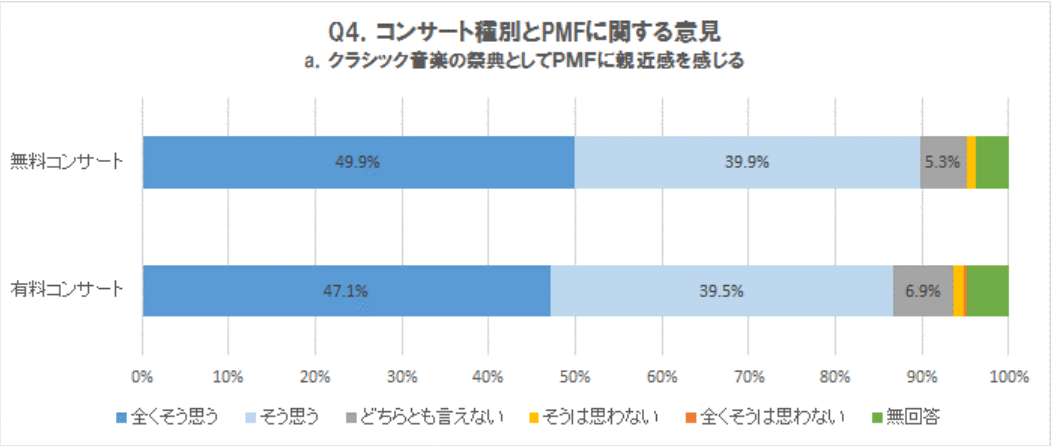

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
l. 札幌市はもっと文化芸術活動を支援するべきだ
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
42.8%
35.5%
15.0%
1.5%
32.8%
40.7%
19.1%
1.6%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

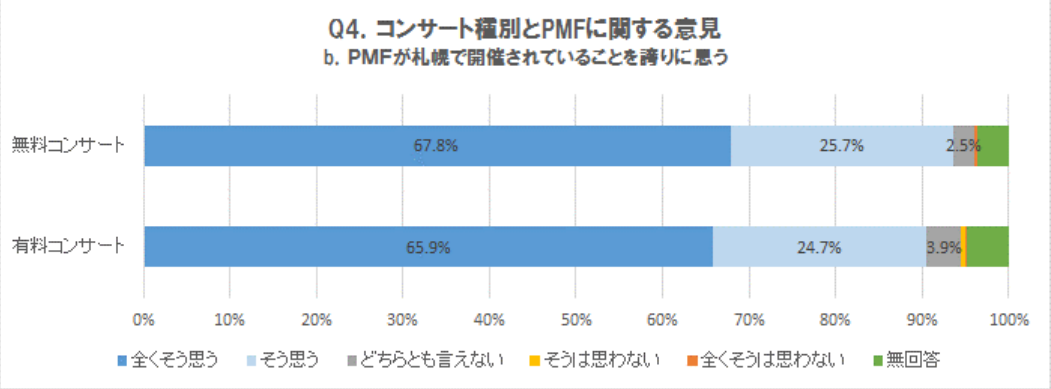

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
m. 札幌で実施される文化芸術活動の中でもPMFは特別だ
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
41.5%
33.8%
16.7%
3.1%
23.9%
37.0%
27.8%
4.7%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

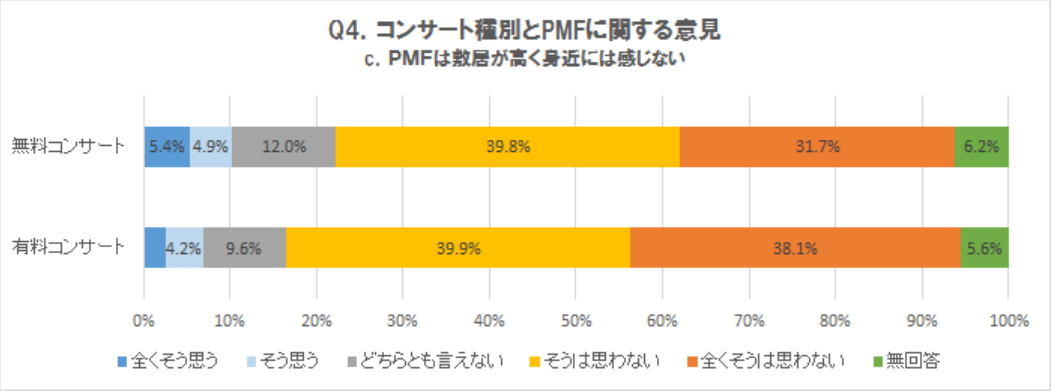

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
n. アカデミー生（オーケストラメンバー）と交流してみたい
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
17.7%
28.7%
36.4%
9.7%
1.5%
10.1%
22.9%
41.6%
16.2%
2.7%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

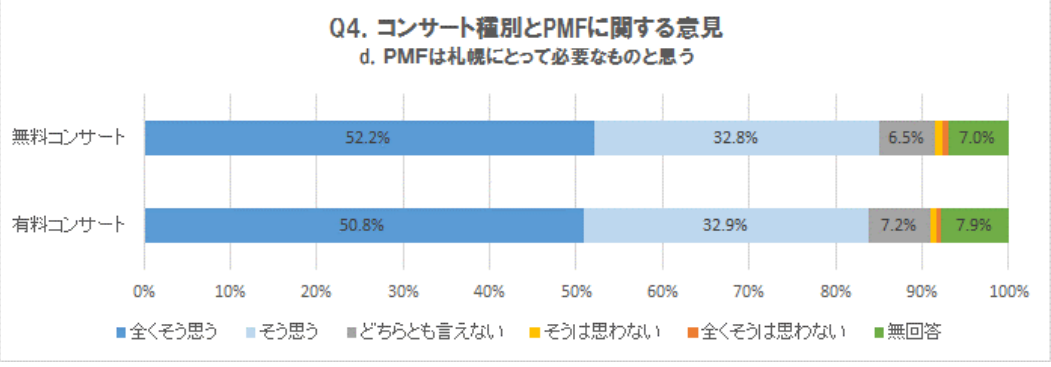

Q4. 情報発信の有無とPMFに関する意見
o. 私はクラシック音楽を良く聴くほうだ
情報発信行動
a. はい
b. いいえ
36.6%
37.2%
16.5%
5.7%
22.1%
33.7%
26.0%
10.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

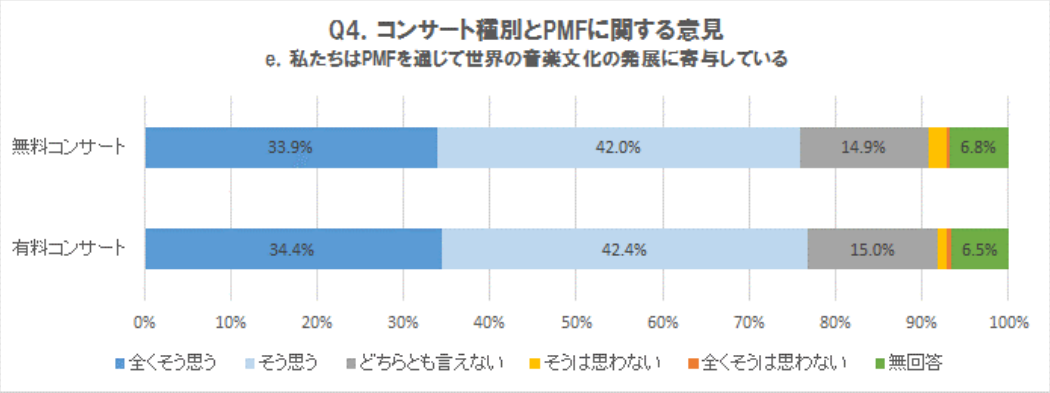
③コンサート種別と PMF に関する意見、意識のクロス集計結果

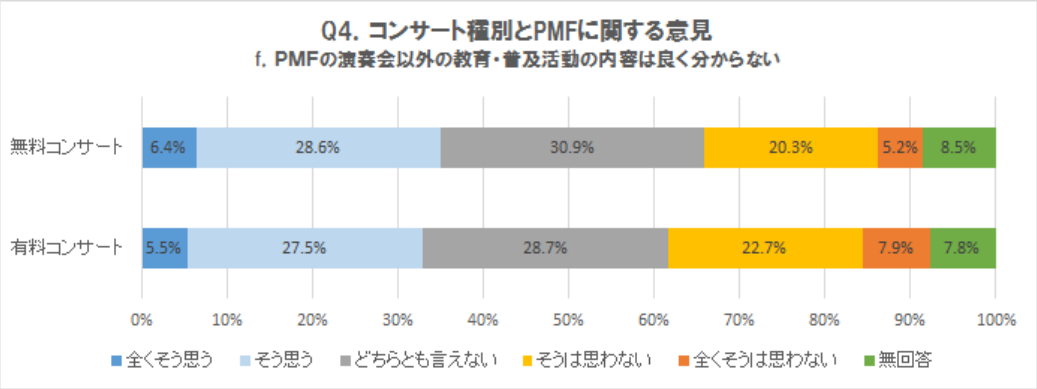


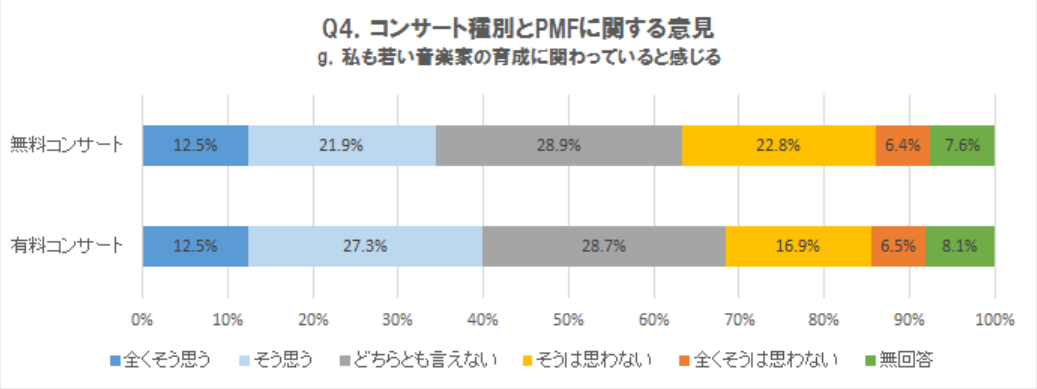


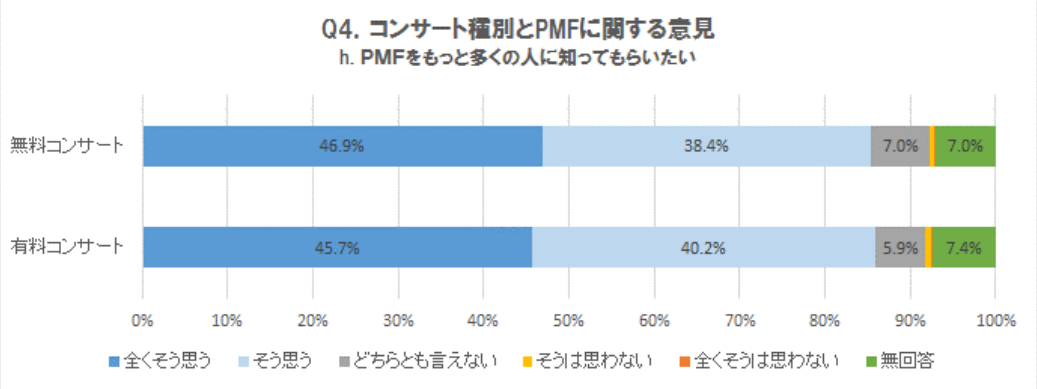


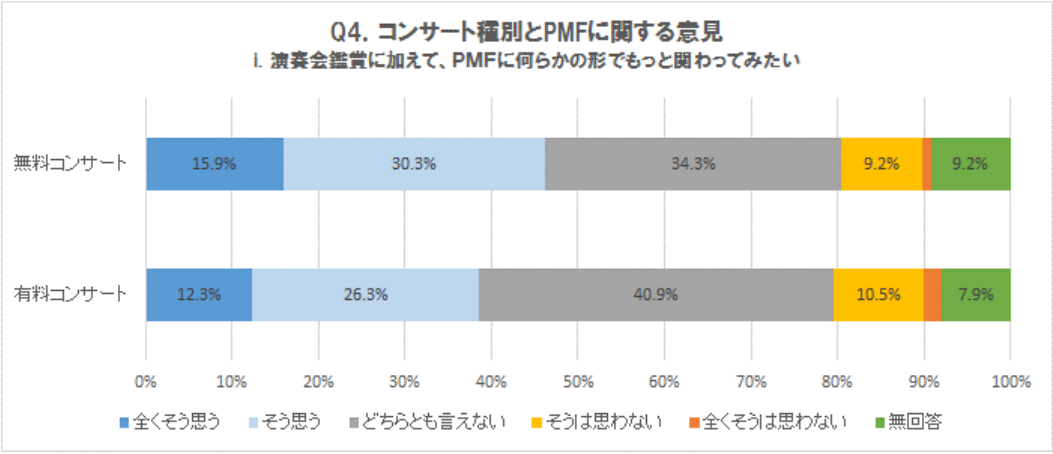


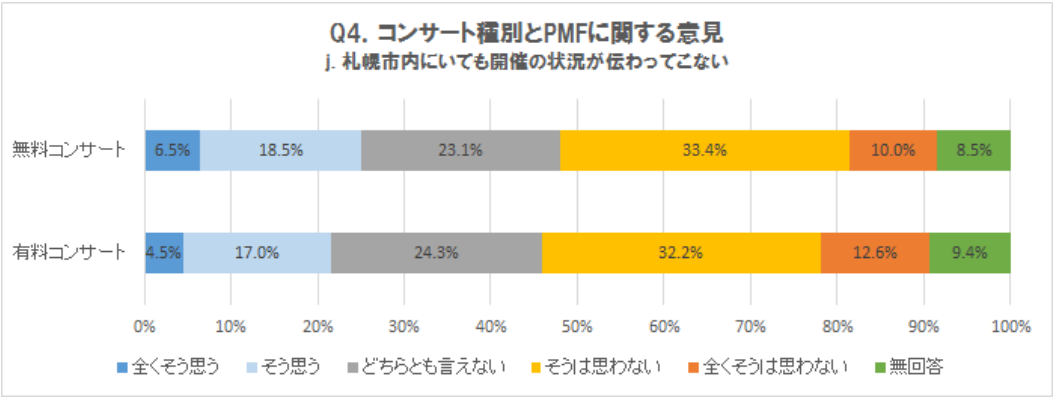

Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
e. 私たちはPMFを通じて世界の音楽文化の発展に寄与している
無料コンサート
33.9%
42.0%
14.9%
6.8%
有料コンサート
34.4%
42.4%
15.0%
6.5%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

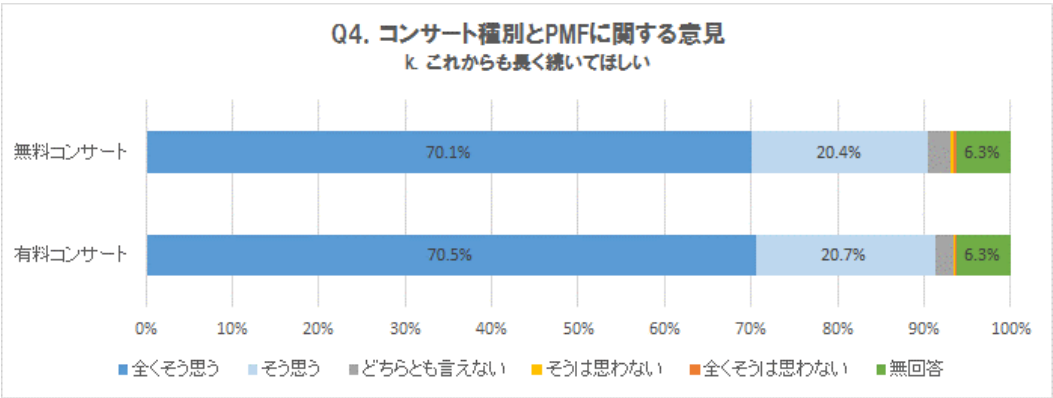

Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
f. PMFの演奏会以外の教育・普及活動の内容は良く分からない
無料コンサート
6.4%
28.6%
30.9%
20.3%
5.2%
8.5%
有料コンサート
5.5%
27.5%
28.7%
22.7%
7.9%
7.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

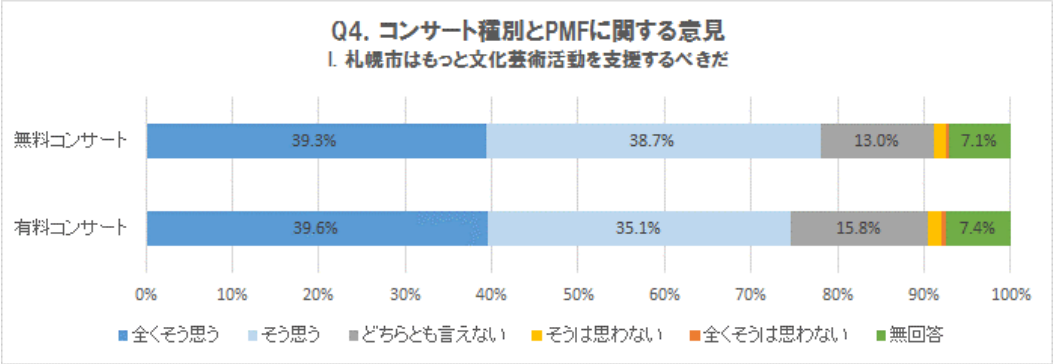

Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
g. 私も若い音楽家の育成に関わっていると感じる
無料コンサート
12.5%
21.9%
28.9%
22.8%
6.4%
7.6%
有料コンサート
12.5%
27.3%
28.7%
16.9%
6.5%
8.1%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

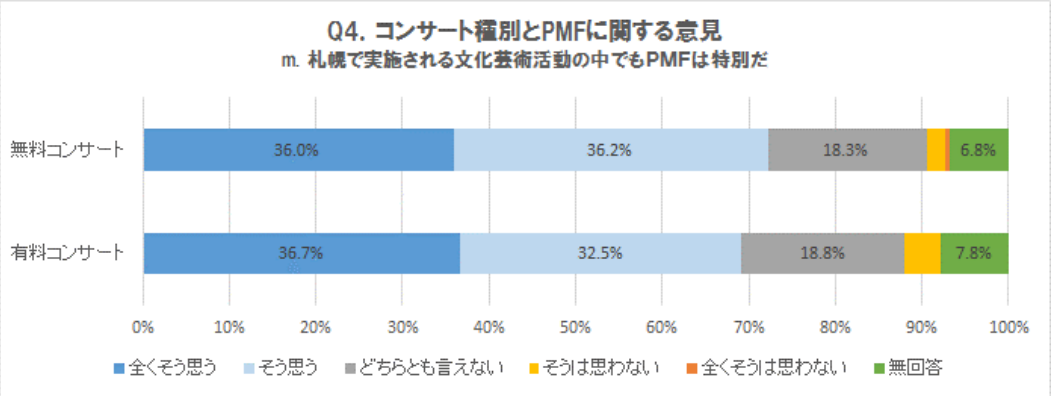

Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
h. PMFをもっと多くの人に知ってもらいたい
無料コンサート
46.9%
38.4%
7.0%
7.0%
有料コンサート
45.7%
40.2%
5.9%
7.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

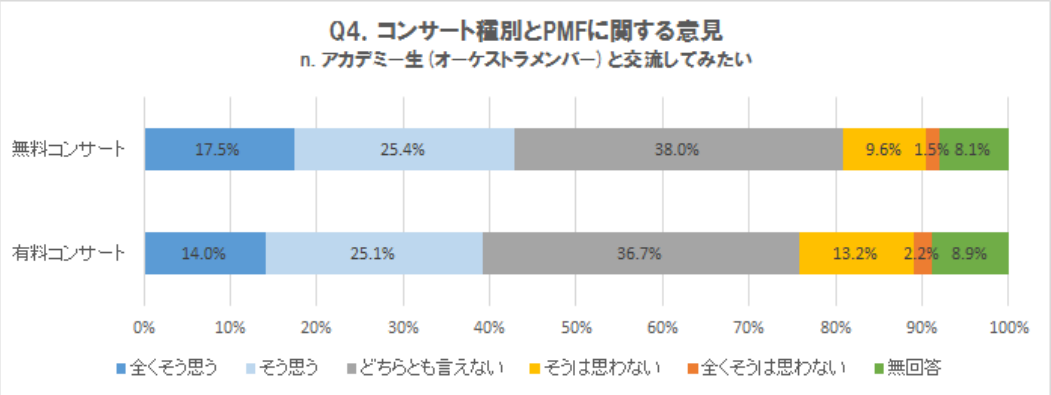

Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
i. 演奏会鑑賞に加えて、PMFに何らかの形でもっと関わってみたい
無料コンサート
15.9%
30.3%
34.3%
9.2%
9.2%
有料コンサート
12.3%
26.3%
40.9%
10.5%
7.9%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答

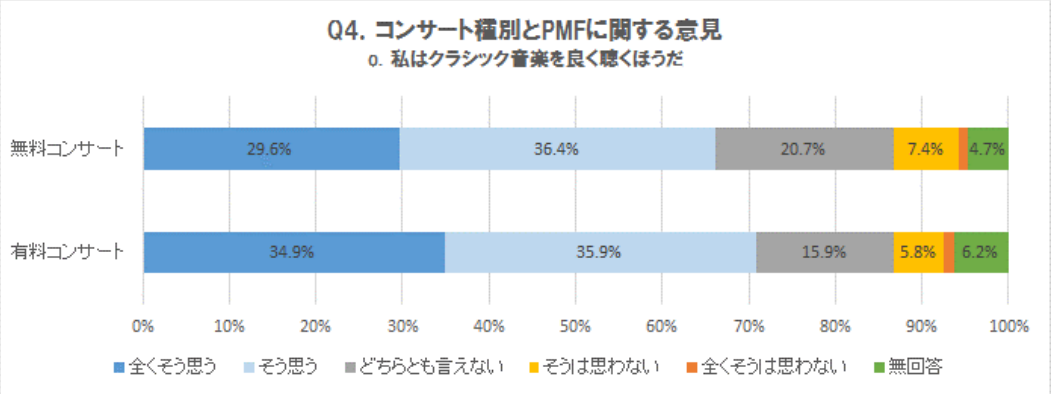

Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
j. 札幌市内にいても開催の状況が伝わってこない
無料コンサート
6.5%
18.5%
23.1%
33.4%
10.0%
8.5%
有料コンサート
4.5%
17.0%
24.3%
32.2%
12.6%
9.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
k. これからも長く続いてほしい
無料コンサート
70.1%
20.4%
6.3%
有料コンサート
70.5%
20.7%
6.3%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
l. 札幌市はもっと文化芸術活動を支援するべきだ
無料コンサート
39.3%
38.7%
13.0%
7.1%
有料コンサート
39.6%
35.1%
15.8%
7.4%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
m. 札幌で実施される文化芸術活動の中でもPMFは特別だ
無料コンサート
有料コンサート
36.0%
36.2%
18.3%
6.8%
36.7%
32.5%
18.8%
7.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
n. アカデミー生（オーケストラメンバー）と交流してみたい
無料コンサート
有料コンサート
17.5%
25.4%
38.0%
9.6%
1.5%
8.1%
14.0%
25.1%
36.7%
13.2%
2.2%
8.9%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答


Q4. コンサート種別とPMFに関する意見
o. 私はクラシック音楽を良く聴くほうだ
無料コンサート
有料コンサート
29.6%
36.4%
20.7%
7.4%
4.7%
34.9%
35.9%
15.9%
5.8%
6.2%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全くそう思う
そう思う
どちらとも言えない
そうは思わない
全くそうは思わない
無回答